



## ドキュメントスペース 管理アプリケーションのヘルプ ArcSuite 4.0

## はじめに

このたびは富士フィルムビジネスイノベーションのArcSuite<sup>®</sup>をご利用いただき、まことにありがとうございます。

一般に、企業活動では、各業務に関する情報はさまざまな形態のドキュメントとして存在しています。ここでいうドキュメントとは、紙に書かれた文書だけを示す狭義のものではありません。紙はもちろんのこと、ホワイトボードに書かれた文字や図表、プロジェクターやテレビに映し出された映像などを含む広義なものを指します。

ドキュメントは一般に、ひとりの手で作成されるものではなく、複数の人の意見交換や討議を経て作成されます。単純な作業や複雑な計算はコンピューターに委ねられ、あらゆる分野でさまざまなソリューションが展開されていますが、ドキュメントの作成では一般に人が中心なのです。

ArcSuiteは、「ドキュメント」に着目して「人」と「人」をつなぐ、「ドキュメント指向」のソリューション・パッケージです。ArcSuiteをご利用いただくことによって、さまざまなコンピューターシステムを統合したうえでのドキュメントの共有や管理が可能になります。

お使いの商品構成によって、次の機能が標準で提供されないことがあります。

コラボスペース、ドキュメントレビューオプション、ワークフロー、分類ビュー、関連文書検索サービス、原本性保証オプション、キャプチャリングサービス、統合検索サービス、オンラインバックアップオプション、ドキュメント一括操作ツール、連携フォルダ for DocuWorks、連携オプション for Working Folder

本書の内容は、Microsoft Windows Operating System、およびWebブラウザの基本的な知識や操作方法を習得されているかたを対象として記述しています。

Excel、Microsoft、Windows、およびWindows Serverは、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Xerox、Xeroxロゴ、およびFuji Xerox ロゴは、米国ゼロックス社の登録商標または商標です。

その他の社名または商品名などは、各社の登録商標または商標です。

Microsoft Corporationの許可を得て画面写真を使用しています。

### ご注意

- ・ 本書の編集、変更、または無断での転載はしないでください。
- ・ 本書に記載されている内容は、将来予告なしに変更されることがあります。
- ・ 本書に記載されている画面やイラストは一例です。ご使用の機種やソフトウェア、OSのバージョンによって異なることがあります。

FUJIFILM、およびFUJIFILM ロゴは、富士フィルム株式会社の登録商標または商標です。

ArcSuite、およびDocuWorksは、富士フィルムビジネスイノベーション株式会社の登録商標または商標です。

## 著作権について

本ソフトウェア、およびバックアップのために複製されたソフトウェアに関する著作権等を含む一切の無体財産権は、弊社および弊社への供給者に帰属します。

(c) 2002-2021 FUJIFILM Business Innovation Corp.

## マニュアル体系

ArcSuiteには、次のマニュアルおよびヘルプがあります。

マニュアルは、PDFファイルまたはヘルプの形式で提供しています。

主なマニュアルは、『ポータル画面のヘルプ』から参照できます。『ポータル画面のヘルプ』は、Webブラウザの操作画面にある [ヘルプ] から表示できます。

**補足** お使いの商品構成によっては、提供されない機能の説明がマニュアルに含まれることがあります。

### ■ 管理者ユーザー向け

| 名称                                 | 概要  |
|------------------------------------|---|
| セットアップガイド                          | 本製品全体のセットアップ方法について説明しています。  |
| システム管理者ガイド                         | リソース管理サービスの概要、機能、管理操作を行うコマンドについて説明しています。また、本製品の運用に必要な管理作業について説明しています。 |
| ドキュメント管理サービス管理者ガイド                 | ドキュメント管理サービスの概要、機能、および管理操作を行うコマンドについて説明しています。                         |
| ドキュメント管理サービス管理アプリケーション デスクトップ版のヘルプ | サーバーで行うドキュメント管理サービスの管理操作について説明しています。                                  |
| ドキュメント管理サービス管理アプリケーション Web版のヘルプ    | クライアントPCで行うドキュメント管理サービスの管理操作について説明しています。                              |
| オフラインバックアップ・リストア運用ガイド              | オフラインバックアップ機能の操作、およびリストア機能の操作について説明しています。                             |
| リソース管理アプリケーションのヘルプ                 | ユーザー、グループ、ユーザーロールの追加、およびライセンスの編集、検索について説明しています。                       |
| ログインサーバー管理アプリケーションのヘルプ             | ログインサーバーでの認証モードの設定について説明しています。  |
| メッセージ通知管理アプリケーションのヘルプ              | メッセージ通知サーバーの設定、メッセージのプール管理、メッセージテンプレートの設定について説明しています。                 |
| ポータル管理アプリケーションのヘルプ                 | ユーザープロフィールに表示する項目の設定、お知らせの設定について説明しています。                              |
| ドキュメントスペース管理アプリケーションのヘルプ (本書)      | 属性テンプレートや表示する属性の設定、表示するボタンの設定、およびシステム環境の設定について説明しています。                |
| 表示アプリケーション管理ツールのヘルプ                | 表示アプリケーションのテンプレート、システム環境の設定について説明しています。                               |
| ログ管理アプリケーションのヘルプ                   | ログを表示する機能、ログを取得する機能、および保守情報を一括で取得する機能について説明しています。                     |

| 名称                                | 概要   |
|-----------------------------------|--|
| 監視ツールのヘルプ                         | ArcSuiteのコンポーネントにアクセスしているユーザー、データベースの状態、およびセッションの状態を監視する機能について説明しています。 |
| ドキュメントスペースドキュメント操作URLリファレンスガイド    | ドキュメントスペースの機能にURLを使用して接続する機能について説明しています。                               |
| オンラインバックアップ・リストア運用ガイド             | オンラインバックアップ機能の操作、およびリストア機能の操作について説明しています。                              |
| e-文書法対応 概要説明書                     | e-文書法対応の概要および原本性保証オプションの機能について説明しています。                                 |
| コラボスペース管理アプリケーションのヘルプ             | コラボスペースのメールの設定、ログの設定、およびタスクやメッセージの用語をカスタマイズする設定について説明しています。            |
| ワークフロー管理アプリケーションのヘルプ              | ワークフロー定義または起動テンプレートの作成者および公開者の設定、ログの設定、外部コマンドの設定について説明しています。           |
| キャプチャリング管理アプリケーションのヘルプ            | キャプチャリングサービスの監視キューに対する操作について説明しています。                                   |
| 統合検索サービス管理アプリケーションのヘルプ            | 統合検索サービスのリソースの設定、収集スケジュールの設定、およびシステム環境の設定について説明しています。                  |
| コラボスペースタスク操作URLリファレンスガイド          | コラボスペースの機能にURLを使用して接続する機能について説明しています。                                  |
| ワークフロー操作URLリファレンスガイド              | ワークフローの機能にURLを使用して接続する機能について説明しています。                                   |
| Webサービスインターフェイスリファレンスガイド          | ArcSuiteの機能にSOAPを使用して接続するAPIについて説明しています。                               |
| ドキュメント管理サービスSDKリファレンスガイド          | ドキュメント管理サービスのオブジェクトを処理するコマンドについて説明しています。                               |
| コラボスペースInterface Toolkitリファレンスガイド | コラボスペースのオブジェクトを処理するコマンドについて説明しています。                                    |
| ワークフロー Interface Toolkitリファレンスガイド | ワークフローのオブジェクトを処理するコマンドについて説明しています。                                     |

## ■ クライアントユーザー向け

| 名称             | 概要  |
|----------------|---|
| ポータル画面のヘルプ     | ポータル画面で、お気に入りの編集、ユーザープロフィールを変更する操作について説明しています。<br>Webブラウザの操作画面にある【ヘルプ】から参照してください。 |
| アドレス帳のヘルプ      | アドレス帳で、ユーザー、グループ、ユーザーロール、およびタスクを検索する操作について説明しています。                                |
| ドキュメントスペースのヘルプ | ドキュメントスペースで、登録、属性の変更、検索などのドキュメントを管理する機能の操作について説明しています。                            |
| 表示アプリケーションのヘルプ | 表示アプリケーションで、ブラウザーイメージ変換された画像を編集する操作、およびユーザー設定について説明しています。                         |
| 検索条件式のヘルプ      | ドキュメントスペースの詳細検索で、全文検索または属性検索の条件式をXMLで指定するときの記述方法について説明しています。                      |

| 名称                                | 概要   |
|-----------------------------------|--|
| 簡易操作のヘルプ                          | 簡易操作画面でドキュメントを管理する機能の操作、および操作画面の設定方法について説明しています。               |
| コラボスペースのヘルプ                       | コラボスペースで、タスクの作成、メッセージの登録、および検索などの操作について説明しています。                |
| ワークフローのヘルプ                        | ワークフローで、ワークフロー定義の作成、公開および起動する操作、作業を実行する操作について説明しています。          |
| ドキュメント一括操作ツール説明書                  | Microsoft Excelを使って、ドキュメント管理サービスのオブジェクトを処理する操作について説明しています。     |
| デスクトップクライアント<br>セットアップガイド         | デスクトップクライアントのセットアップ方法について説明しています。                              |
| デスクトップクライアント<br>操作説明書             | デスクトップクライアントで、ドキュメント管理サービスのフォルダーやドキュメントにアクセスする操作方法について説明しています。 |
| 連携フォルダ for DocuWorks<br>セットアップガイド | 連携フォルダ for DocuWorksのセットアップ方法について説明しています。                      |
| 連携フォルダ for DocuWorksの<br>ヘルプ (*1) | DocuWorks Deskで、ArcSuiteに登録されているドキュメントを操作する方法について説明しています。      |

\* 1: 連携フォルダ for DocuWorks をインストールした DocuWorks Desk のヘルプから参照してください。

# 本書の使い方

本書は、ドキュメントスペース管理アプリケーションの基本的な使い方について説明しています。

## ■ 本書の構成

本書は、次の章から構成されています。

### [1 ドキュメントスペース管理アプリケーションとは](#)

ドキュメントスペース管理アプリケーションの概要について説明しています。

### [2 ドキュメントスペース管理アプリケーションを起動、終了する](#)

ドキュメントスペース管理アプリケーションの起動と終了方法について説明しています。

### [3 システム設定を行う](#)

ドキュメントスペースのシステム設定について説明しています。

### [4 ユーザー設定を行う](#)

ドキュメントスペースのユーザー設定について説明しています。

### [5 ユーザー情報を設定する](#)

ドキュメントスペースのユーザー情報を設定する方法について説明しています。

### [6 操作カスタマイズを設定する](#)

ドキュメントスペースの操作をカスタマイズする方法について説明しています。

### [7 アプリケーションの設定を行う](#)

ドキュメントスペースのアプリケーション設定について説明しています。

### [8 ドキュメントスペースへの各種リンク](#)

ドキュメントスペースをリンクから使う方法について説明します。

## ■ 本書の表記

・ 本書では、次の記号を使用しています。

|        |   |
|--------|---|
| < > キー | キーボードのキーを表します。<br>例：<Enter>キーを押します。   |
| [ ]    | 画面に表示されるメニュー、ボタン、項目を表します。<br>例：[新規作成] をクリックします。                                     |
| [ ]    | 同一マニュアル内の参照箇所を表します。<br>また、強調する用語やメッセージも表します。<br>例：「1 概要」<br>「名前が指定されていません。」と表示されます。 |
| 『 』    | 参照するマニュアルの名前を表します。<br>例：『システム管理者ガイド』  |
| { }    | ユーザー名やサーバー名など、操作時に変わる値を表します。<br>例：[{ユーザー名}] をクリックします。                               |
| >      | メニューやWebページの階層を表します。<br>例：[システムとセキュリティ] > [管理ツール]                                   |

---

|       |  |
|-------|--|
| 注記    | 一般的な注意事項を表します。   |
| 補足    | 機能や操作に関する補足説明を表します。  |
| 参照    | 参照する事項があることを表します。  |
| _____ | 参照先タイトルやページへのリンクがあることを表します。<br>例： <a href="#">「1 概要」 (P.6)</a> |

- ・ Microsoft Windows Operating System を「Windows」と表記しています。
- ・ パーソナルコンピュータを「PC」と表記しています。
- ・ お使いの環境によって、マニュアルに記載の画面と実際の画面が異なることがあります。
- ・ 特に表記がない場合の製品のバージョン番号は「4.0」です。

# 目次

|       |   |    |
|-------|---|----|
| 1     | ドキュメントスペース管理アプリケーションとは                        |    |
| 1.1   | 管理アプリケーションとは.....                             | 13 |
| 1.2   | ドキュメントスペース管理アプリケーションの機能.....                  | 14 |
| 2     | ドキュメントスペース管理アプリケーションを起動、終了する                  |    |
| 2.1   | 管理アプリケーションを起動する.....                          | 16 |
| 2.1.1 | [システム管理] 画面から [ドキュメントスペース管理] 画面を表示する.....     | 16 |
|       | ドキュメントスペース管理アプリケーションを [システム管理] 画面から起動する手順.... | 16 |
| 2.1.2 | Web ブラウザーから [ドキュメントスペース管理] 画面を表示する.....       | 17 |
|       | ドキュメントスペース管理アプリケーションを Web ブラウザーから起動する手順.....  | 17 |
| 2.2   | 管理アプリケーションを終了する.....                          | 18 |
|       | ドキュメントスペース管理アプリケーションを終了する手順.....              | 18 |
| 3     | システム設定を行う                                     |    |
| 3.1   | システム設定.....                                   | 20 |
| 3.2   | システム設定の言語を変更する.....                           | 21 |
|       | システム設定の言語を変更する手順.....                         | 21 |
| 3.3   | システム設定の名前とコメントを修正する.....                      | 22 |
|       | システム設定の名前とコメントを修正する手順.....                    | 22 |
| 3.4   | 属性テンプレートを設定する.....                            | 23 |
| 3.4.1 | 属性テンプレートの概要.....                              | 23 |
|       | 属性テンプレートとは.....                               | 23 |
|       | 属性テンプレートの定義内容.....                            | 23 |
|       | 属性テンプレートの利用例.....                             | 24 |
|       | ヒント情報の階層構造.....                               | 24 |
| 3.4.2 | 属性テンプレートを新規作成する.....                          | 26 |
|       | [属性テンプレート設定] 画面の構成.....                       | 26 |
|       | 属性テンプレートを新規作成する手順.....                        | 27 |
| 3.4.3 | 属性テンプレートを修正する.....                            | 29 |
|       | 属性テンプレートを修正する手順.....                          | 29 |
| 3.4.4 | 属性テンプレートの詳細設定を行う.....                         | 31 |
|       | [属性テンプレートヒント値設定] 画面の構成.....                   | 31 |
|       | 属性のヒント値を作成／修正する手順.....                        | 32 |
|       | 属性のヒント値を削除する手順.....                           | 32 |
|       | [属性テンプレート設定 ドメイン値設定 (String 型)] 画面の構成.....    | 34 |
|       | 属性のドメイン値 (文字列型などの候補値) を作成／修正する手順.....         | 35 |
|       | 属性のドメイン値 (文字列型などの正規表現) を作成／修正する手順.....        | 35 |
|       | 属性のドメイン値 (Integer 型) を作成／修正する手順.....          | 36 |
|       | 属性のドメイン値 (Long 型) を作成／修正する手順.....             | 36 |
|       | 属性のドメイン値 (Double 型) を作成／修正する手順.....           | 37 |
|       | 属性のドメイン値 (日付型) を作成／修正する手順.....                | 38 |
|       | 属性のドメイン値 (ブール型) を作成／修正する手順.....               | 38 |
|       | 属性のドメイン値を削除する手順.....                          | 39 |
| 3.4.5 | 属性テンプレートを削除する.....                            | 39 |
|       | 属性テンプレートを削除する手順.....                          | 39 |
| 3.4.6 | 属性テンプレートの順序を変更する.....                         | 40 |
|       | 属性テンプレートの順序を変更する手順.....                       | 40 |

|        |                                   |    |
|--------|-----------------------------------|----|
| 3.5    | キャビネットに属性テンプレートを割り当てる .....       | 41 |
|        | キャビネットに属性テンプレートを割り当てる手順 .....     | 41 |
|        | キャビネットに割り当てた属性テンプレートを削除する手順 ..... | 41 |
| 3.6    | 表示の設定を行う .....                    | 42 |
| 3.6.1  | 表示設定全体を表示する .....                 | 42 |
|        | [表示設定] 画面を表示する手順 .....            | 42 |
| 3.6.2  | キャビネットの表示属性を設定する .....            | 43 |
|        | キャビネットの表示属性を設定する手順 .....          | 43 |
| 3.6.3  | キャビネットのソート順を設定する .....            | 45 |
|        | キャビネットのソート順を設定する手順 .....          | 45 |
| 3.6.4  | ドロワーの表示属性を設定する .....              | 47 |
|        | ドロワーの表示属性を設定する手順 .....            | 47 |
| 3.6.5  | ドロワーのソート順を設定する .....              | 49 |
|        | ドロワーのソート順を設定する手順 .....            | 49 |
| 3.6.6  | 基本オブジェクトの表示属性を設定する .....          | 51 |
|        | 基本オブジェクトの表示属性を設定する手順 .....        | 51 |
| 3.6.7  | 基本オブジェクトのソート順を設定する .....          | 53 |
|        | 基本オブジェクトのソート順を設定する手順 .....        | 53 |
| 3.6.8  | 共通項目の表示内容を設定する .....              | 55 |
|        | 表示内容を設定する手順 .....                 | 55 |
| 3.7    | 属性コピーの設定を行う .....                 | 56 |
|        | 属性コピーの設定を行う手順 .....               | 56 |
| 3.8    | リファレンス登録、更新時の属性コピーの設定を行う .....    | 57 |
|        | リファレンス登録、更新時の属性コピーを設定する手順 .....   | 57 |
| 3.9    | 簡易検索の設定を行う .....                  | 59 |
|        | 簡易検索の設定を行う手順 .....                | 59 |
| 3.10   | ダウンロード、アップロードの設定を行う .....         | 61 |
|        | ダウンロード、アップロードの設定を行う手順 .....       | 61 |
| 3.11   | フォーマットの設定を行う .....                | 62 |
| 3.11.1 | フォーマットを新規作成する .....               | 62 |
|        | フォーマットを新規作成する手順 .....             | 62 |
| 3.11.2 | フォーマットを修正する .....                 | 63 |
|        | フォーマットを修正する手順 .....               | 63 |
| 3.11.3 | フォーマットを削除する .....                 | 63 |
|        | フォーマットを削除する手順 .....               | 63 |
| 4      | ユーザー設定を行う .....                   |    |
| 4.1    | ユーザー設定を行う .....                   | 65 |
|        | ユーザー設定 .....                      | 65 |
|        | デフォルトのユーザー設定 .....                | 65 |
| 4.2    | ユーザー設定の言語を変更する .....              | 66 |
|        | ユーザー設定の言語を変更する手順 .....            | 66 |
| 4.3    | ユーザー設定を新規作成する .....               | 67 |
|        | ユーザー設定を新規作成する手順 .....             | 67 |
| 4.4    | ユーザー設定の名前とコメントを修正する .....         | 68 |
|        | ユーザー設定の名前とコメントを修正する手順 .....       | 68 |
| 4.5    | ユーザー設定に属性テンプレートを設定する .....        | 69 |
|        | ユーザー設定に属性テンプレートを設定する手順 .....      | 69 |
| 4.6    | 表示の設定を行う .....                    | 70 |

|                        |                                   |    |
|------------------------|-----------------------------------|----|
| 4.7                    | 簡易検索のユーザー設定を修正する .....            | 71 |
| 4.8                    | ダウンロード、アップロードのユーザー設定を修正する .....   | 72 |
| 4.9                    | ユーザー設定の順序を変更する .....              | 73 |
|                        | ユーザー設定の順序を変更する手順 .....            | 73 |
| 4.10                   | ユーザー設定を削除する .....                 | 74 |
|                        | ユーザー設定を削除する手順 .....               | 74 |
| <b>5 ユーザー情報を設定する</b>   |                                   |    |
| 5.1                    | ユーザー設定の割り当てを変更する .....            | 76 |
| 5.1.1                  | 言語を変更する .....                     | 76 |
|                        | 言語を変更する手順 .....                   | 76 |
| 5.1.2                  | ユーザー設定にユーザーを割り当てる .....           | 77 |
|                        | [ユーザー割り当て変更] 画面の構成 .....          | 77 |
|                        | ユーザー設定にユーザーを割り当てる手順 .....         | 78 |
| 5.1.3                  | ユーザー設定へのユーザーの割り当てを解除する .....      | 79 |
|                        | ユーザー設定の割り当てを解除する手順 .....          | 79 |
| 5.2                    | ユーザー設定選択権を変更する .....              | 81 |
| 5.2.1                  | ユーザーにユーザー設定選択権を付与する .....         | 81 |
|                        | [ユーザー設定選択権変更] 画面の構成 .....         | 81 |
|                        | 一般ユーザーにユーザー設定選択権を付与する手順 .....     | 82 |
| 5.2.2                  | ユーザー設定選択権を解除する .....              | 83 |
|                        | ユーザー設定選択権を解除する手順 .....            | 83 |
| 5.3                    | 存在しないユーザーの設定情報を削除する .....         | 84 |
| 5.3.1                  | 存在しないユーザーの設定情報を削除する .....         | 84 |
|                        | 存在しないユーザーの設定情報を削除する手順 .....       | 84 |
| 5.4                    | 個人用表示設定を削除する .....                | 85 |
| 5.4.1                  | 一般ユーザーの個人用表示設定を削除する .....         | 85 |
|                        | 一般ユーザーの個人用表示設定を削除する手順 .....       | 85 |
| 5.5                    | 業務設定選択権を変更する .....                | 86 |
| 5.5.1                  | ユーザーに業務設定選択権を付与する .....           | 86 |
|                        | [業務設定選択権変更] 画面の構成 .....           | 86 |
|                        | 一般ユーザーに業務設定選択権を付与する手順 .....       | 87 |
| 5.5.2                  | 業務設定選択権を解除する .....                | 88 |
|                        | 業務設定選択権を解除する手順 .....              | 88 |
| <b>6 操作カスタマイズを設定する</b> |                                   |    |
| 6.1                    | 操作カスタマイズを設定する .....               | 90 |
| 6.2                    | 言語を変更する .....                     | 91 |
|                        | 操作カスタマイズの言語を変更する手順 .....          | 91 |
| 6.3                    | 操作カスタマイズ設定を作成する .....             | 92 |
|                        | 操作カスタマイズ設定を作成する手順 .....           | 92 |
| 6.4                    | 操作カスタマイズの設定を削除する .....            | 93 |
|                        | 操作カスタマイズ設定を削除する手順 .....           | 93 |
| 6.5                    | ドキュメントのアイコンと属性に操作を割り付ける .....     | 94 |
|                        | ドキュメントのアイコンと属性に操作を割り付ける手順 .....   | 94 |
| 6.6                    | オブジェクト操作メニュー（属性前）の内容を設定する .....   | 95 |
|                        | オブジェクト操作メニュー（属性前）の内容を設定する手順 ..... | 95 |
| 6.7                    | オブジェクト操作メニュー（属性後）の内容を設定する .....   | 97 |

|  |            |
|--|------------|
| オブジェクト操作メニュー（属性後）の内容を設定する手順 .....      | 97         |
| <b>6.8 グローバル操作メニューエリアの内容を設定する.....</b> | <b>99</b>  |
| [グローバル操作メニュー] エリアの内容を設定する手順.....       | 99         |
| <b>6.9 コンテンツ操作メニューエリアの内容を設定する.....</b> | <b>101</b> |
| [コンテンツ操作メニュー] エリアの内容を設定する手順.....       | 101        |
| <b>6.10 検索エリアの内容を設定する .....</b>        | <b>103</b> |
| 検索エリアの内容を設定する手順 .....                  | 103        |
| <b>6.11 禁止する操作の内容を設定する .....</b>       | <b>104</b> |
| 禁止する操作の内容を設定する手順 .....                 | 104        |

## 7 アプリケーションの設定を行う

|                                |            |
|--------------------------------|------------|
| <b>7.1 Web サーバーを設定する .....</b> | <b>106</b> |
| Web サーバーを設定する手順 .....          | 106        |
| <b>7.2 基本機能を設定する .....</b>     | <b>107</b> |
| 基本機能を設定する手順.....               | 107        |
| <b>7.3 リモート編集を設定する .....</b>   | <b>109</b> |
| リモート編集を設定する手順 .....            | 109        |
| <b>7.4 分類フォルダを設定する .....</b>   | <b>110</b> |
| 分類フォルダを設定する手順 .....            | 110        |
| <b>7.5 ごみ箱を設定する .....</b>      | <b>111</b> |
| ごみ箱を設定する手順 .....               | 111        |
| <b>7.6 ログを設定する.....</b>        | <b>112</b> |
| ログを設定する手順.....                 | 112        |
| <b>7.7 更新タイマーを設定する .....</b>   | <b>113</b> |
| 更新タイマーを設定する手順 .....            | 113        |

## 8 ドキュメントスペースへの各種リンク

|   |            |
|---|------------|
| <b>8.1 ドキュメントスペースへのリンクを使用する .....</b>         | <b>115</b> |
| 8.1.1 ドキュメントスペースをドキュメント管理サービスの管理者として起動する..... | 115        |
| ドキュメントスペースをドキュメント管理サービスの管理者として起動する手順 .....    | 115        |
| 8.1.2 URL 生成アプリケーションを起動する.....                | 115        |
| URL 生成アプリケーションを起動する手順 .....                   | 115        |
| 8.1.3 新規詳細検索 URL 作成の画面を表示する .....             | 115        |
| 新規詳細検索 URL 作成の画面を表示する手順.....                  | 115        |
| 8.1.4 ドキュメントスペースに対して設定を反映する .....             | 116        |
| ドキュメントスペースに対して設定を反映する手順.....                  | 116        |

# 1 ドキュメントスペース管理アプリケーションとは

ドキュメントスペース管理アプリケーションの概要を説明します。

## 1.1 管理アプリケーションとは

ドキュメントスペース管理アプリケーションは、ドキュメントスペースの各種設定を行うための管理ツールです。ドキュメントスペースの管理者とは、リソース管理アプリケーションでドキュメントスペースの管理者に設定されたユーザーです。

**補足** 「ドキュメントスペース管理アプリケーション」と「ドキュメント管理サービス管理アプリケーション」との違いは、ドキュメントスペースで操作するための設定を行うアプリケーションか、ドキュメント管理サービスの設定を行うアプリケーションかです。

「ドキュメント管理サービス管理アプリケーション」では、ドキュメント管理サービスのサービス、キャビネット、ドロワーを作成したり、サービスをメンテナンス状態にしたりでき、「ドキュメントスペース管理アプリケーション」では、ドキュメントスペースで表示する属性や操作を設定し、テンプレートを割り当てることができます。

それぞれの管理者に設定されたユーザーが管理アプリケーションを使用できます。

**参照** 詳細については、[\[2.1.1 \[システム管理\] 画面から「ドキュメントスペース管理」画面を表示する\]](#) (P.16) を参照してください。

ドキュメントスペースの管理者を設定する方法については、『リソース管理アプリケーションのヘルプ』を参照してください。

## 1.2 ドキュメントスペース管理アプリケーションの機能

---

「ドキュメントスペース管理アプリケーション」では、次の設定を行うことができます。

ドキュメントスペースで共通の設定としては、主に次のものがあります。

- ・セッションのタイムアウト時間
- ・リスト表示で表示できるフォルダーなどの最大数
- ・ごみ箱を利用する
- ・出力するログの種類とその内容

ドキュメントスペースの画面を表示するときの設定としては、主に次のものがあります。

- ・オブジェクトの登録や検索などを行うときに使う「属性テンプレート」
- ・「属性テンプレート」を利用するキャビネットを割り当てる
- ・キャビネット、ドロワー、基本オブジェクトの単位で表示する属性
- ・キャビネット単位で表示できる件数やリスト表示など
- ・作成した設定を利用するユーザーを割り当てる
- ・利用する設定をユーザーに選択できる権利を割り当てる

**補足** これらの設定は、ユーザーの言語設定に依存しています。そのため言語ごとに設定する必要があります。

ドキュメントスペースで、登録などの操作を行うときの設定としては、主に次のものがあります。

- ・キャビネット単位で指定したアイコンに操作を割り当てる
- ・フォーマット単位で作成するインデックス画像やサムネイル画像などを選択する
- ・アップロードするファイルが持つデータサイズの上限值を設ける

**補足** これらの設定は、ユーザーの言語設定に依存しています。そのため言語ごとに設定する必要があります。

## 2 ドキュメントスペース管理アプリケーションを起動、終了する

ドキュメントスペース管理アプリケーションの起動方法と終了方法を説明します。

## 2.1 管理アプリケーションを起動する

---

### 2.1.1 [システム管理] 画面から [ドキュメントスペース管理] 画面を表示する

---

ここでは、ドキュメントスペース管理アプリケーションを、[システム管理] 画面から起動する手順を説明します。

#### ドキュメントスペース管理アプリケーションを [システム管理] 画面から起動する手順

1. [ポータル] 画面の [システム管理] をクリックします。  
[システム管理] 画面が表示されます。
2. [システム管理] 画面の左側にある [システム管理] から、[ドキュメントスペース] をクリックします。  
画面の右側に、ドキュメントスペースの情報が表示されます。
3. 管理アプリケーションのリンクをクリックします。  
[ログイン] 画面が表示されます。
4. 管理者権限を持つユーザーの [ユーザー ID] と [パスワード] を入力します。
5. [ログイン] をクリックします。  
ログインに成功すると、[ドキュメントスペース管理] 画面が表示されます。

## 2.1.2 Web ブラウザーから [ドキュメントスペース管理] 画面を表示する

ドキュメントスペース管理アプリケーションを、Webブラウザから起動する手順を説明します。

ドキュメントスペース管理アプリケーションを起動すると、[ドキュメントスペース管理] 画面が表示されます。

### ドキュメントスペース管理アプリケーションを Web ブラウザーから起動する手順

1. Web ブラウザーを起動します。
2. Web ブラウザーの URL 入力エリアに、  
「http:// {ホスト名} . {ドメイン名} /ArcSuite/dsadmin/」 と入力します。  
**補足** {ホスト名} はドキュメントスペースが稼働するサーバーのホスト名です。  
{ドメイン名} はドキュメントスペースが稼働するサーバーに設定されているドメイン名です。  
{ホスト名}、および {ドメイン名} が不明な場合は管理者にご確認ください。
3. 管理者権限を持つユーザーの [ユーザー名] と [パスワード] を入力します。
4. [ログイン] をクリックします。  
ドキュメントスペース管理アプリケーションが起動して、[ドキュメントスペース管理] 画面が表示されます。

## 2.2 管理アプリケーションを終了する

---

ここでは、ドキュメントスペース管理アプリケーションを終了する手順を説明します。

### ドキュメントスペース管理アプリケーションを終了する手順

1. 画面右上の ([ログアウト] アイコン) をクリックします。  
ログアウトし、[ログイン] 画面に戻ります。
2. Web ブラウザーの [×] ボタンをクリックします。  
ドキュメントスペース管理アプリケーションが終了します。

# 3 システム設定を行う

ドキュメントスペース管理アプリケーションで、ドキュメントスペースのシステム設定を行う手順を説明します。

## 3.1 システム設定

---

ドキュメントスペース管理アプリケーションを使って設定する、ドキュメントスペースの次の設定項目をまとめたものが「システム設定」です。

- ・ 属性テンプレート
- ・ 表示の設定
- ・ 属性コピーの設定
- ・ リファレンス登録、更新時の属性コピーの設定
- ・ 簡易検索の設定
- ・ ダウンロード、アップロード操作の設定
- ・ 操作カスタマイズの設定
- ・ フォーマットの設定

システム設定は1つだけです。削除できません。ただし、システム設定の名前と、システム設定のコメントは修正できます。

**注記** システム設定は、必ず言語ごとに同じ設定にしてください。  
言語ごとに設定が異なると、ユーザーによっては意図していない表示やアクセスが許可されることとなります。

**参照** システム設定の言語の変更方法については、[\[3.2 システム設定の言語を変更する\] \(P.21\)](#) を参照してください。

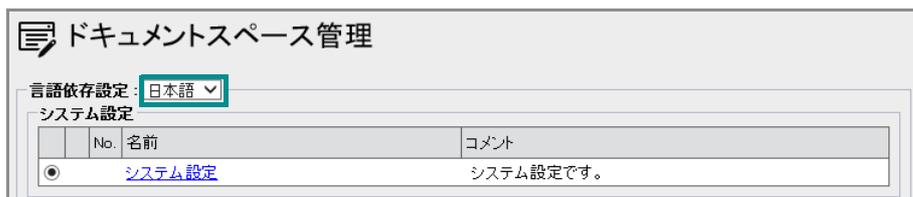
## 3.2 システム設定の言語を変更する

英語または簡体字中国語のユーザーがドキュメントスペースを使う場合、システム設定を変更したら、それぞれの言語でシステム設定を変更する必要があります。

たとえば、日本語でシステム設定を変更した場合、英語のシステム設定も、日本語のシステム設定と同じ設定を変更します。

### システム設定の言語を変更する手順

1. [ドキュメントスペース管理] 画面で、[言語依存設定] のプルダウンメニューから言語を選択します。



2. システム設定のリンクをクリックします。
3. 日本語のシステム設定と同じ内容で、システム設定を変更します。

**補足** 変更しない場合は、言語に設定されたデフォルトの設定になります。

## 3.3 システム設定の名前とコメントを修正する

---

ドキュメントスペースのシステム設定に付けられている「名前」と「コメント情報」を修正できます。ここでは、ドキュメントスペースのシステム設定のうち、システム設定の名前とコメントを修正する手順を説明します。

### システム設定の名前とコメントを修正する手順

1. [ドキュメントスペース管理] 画面で、システム設定名のリンクをクリックします。  
[システム設定修正] 画面が表示されます。
2. [システム設定修正] 画面の [名前およびコメント] リンクをクリックします。  
[名前およびコメント修正] 画面が表示されます。
3. [名前およびコメント修正] 画面の [名前] に、修正後のシステム設定の名前を入力します。
4. [コメント] に、修正後のコメントを入力します。
5. [設定] をクリックします。  
システム設定の名前とコメントが修正されて、[システム設定修正] 画面に戻ります。
6. [システム設定修正] 画面の [戻る] をクリックします。  
[ドキュメントスペース管理] 画面に戻ります。

## 3.4 属性テンプレートを設定する

ドキュメントスペースのシステム設定に割り当てる属性テンプレートの新規作成、修正、および削除を行えます。

### 3.4.1 属性テンプレートの概要

ドキュメントスペース管理アプリケーションによるシステム設定の重要な設定項目として、「属性テンプレート」があります。システム設定において、キャビネットごと、ユーザー設定ごとに複数の属性テンプレートを割り当てられます。

属性テンプレートの概要を次に示します。

#### 属性テンプレートとは

属性テンプレートとは、登録する属性の種類や値入力時のヒント情報などを設定するものです。

ドキュメントスペースで管理されるドキュメントには複数の種類が想定され、各々のドキュメントが持つ属性は別々のものであることが考えられます。

たとえば、図面とオフィス文書が管理されている場合、図面には「図面番号」という属性が必要ですが、オフィス文書には「図面番号」という属性は必要ないと考えられます。

そこで、図面用の属性テンプレートとオフィス文書用の属性テンプレートを用意しておき、それぞれの文書を登録するときに対応する属性テンプレートを設定しておくことで、必要な属性だけを表示できます。

このように属性テンプレートは、対応するドキュメントに必要な属性だけを表示する役目を果たします。ドキュメントスペースとしては必ずしも属性テンプレートを必要としません。

特に、使用可能な属性テンプレートがない場合には、すべてのシステム属性とユーザー属性が対象となります。

**補足** 属性テンプレートを利用しない場合、ドキュメント管理サービスで追加したユーザー属性がドキュメントスペースに反映されるには ArcSuite Web Application Service の再起動が必要です。

#### 属性テンプレートの定義内容

属性テンプレートには、ドキュメントスペースでのオブジェクトの属性について、次の内容を定義します。

- ・属性テンプレートに含める属性の設定
- ・属性テンプレートの利用目的（検索・表示で利用する / 登録時に利用する）
- ・属性値が取りうる範囲（ドメイン値）
- ・属性値のヒントとなる値

**参照** 属性テンプレートの定義方法については、[「3.4.2 属性テンプレートを新規作成する」\(P.26\)](#)、[「3.4.4 属性テンプレートの詳細設定を行う」\(P.31\)](#)を参照してください。

## 属性テンプレートの利用例

たとえば、ドキュメントスペースで図面データをドキュメントとして登録するときに、Zuban（図面番号）とBumon（部門コード）というユーザー属性を設定するとします。

そのためには、ドキュメントスペース管理アプリケーションで、「図面」という属性テンプレートを作成し、次の情報を属性テンプレートに設定しておきます。

- ・ 属性テンプレート「図面」に、ZubanとBumonを含める
- ・ Zubanがとりうる属性値は、1～10,000までの整数とする
- ・ Zubanの属性値とその簡単な説明
- ・ Bumonがとりうる属性値は、100、110、120、200、900のいずれかとする
- ・ Bumonの属性値とその簡単な説明

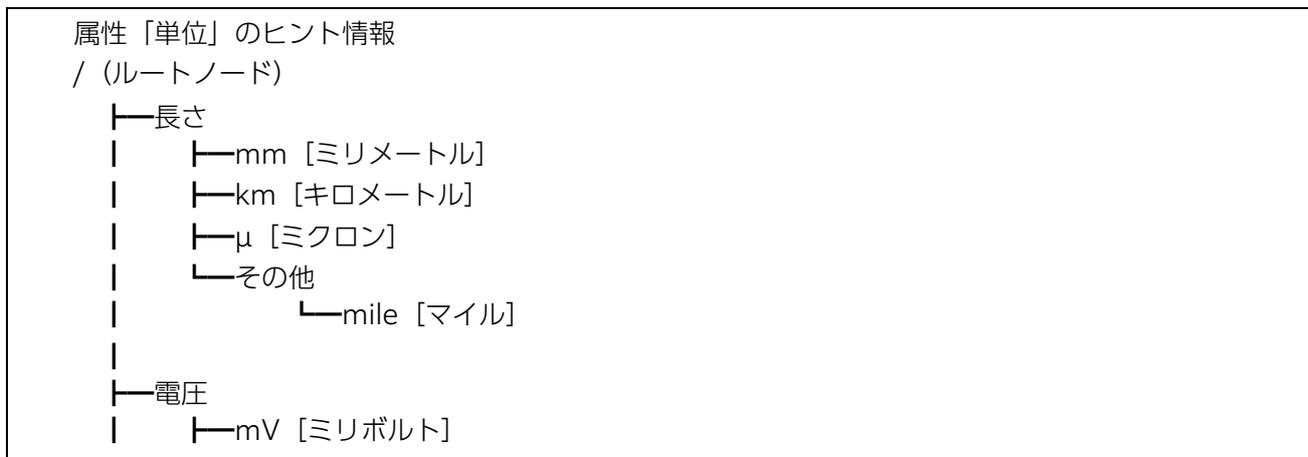
図面データをドキュメントとして登録するときに、ドキュメントスペースの「ドキュメント登録」画面で、属性テンプレート「図面」を選択します。これによって、属性テンプレート「図面」に含まれるZubanとBumonが、「ドキュメント登録」画面に設定項目として表示されます。Zubanがどんな属性であるかを知りたい場合は、Zuban属性の「ヒント」をクリックすれば、「ヒント」画面に、属性テンプレート「図面」に定義されているヒント情報が表示されます。また、Bumon属性値として「-90」を設定すると、ドメイン値の範囲外なので、エラーとなります。

属性テンプレートを検索や表示のために使用できます。たとえば、属性テンプレート「図面」を登録用の属性テンプレートとしてだけでなく、検索、表示用の属性テンプレートとしても使用できるようにしておきます。これによって、ドキュメントスペースの「詳細検索」画面で、属性の検索条件を指定するときに、属性テンプレート「図面」を選択できるようになります。属性テンプレート「図面」を選択すると、ZubanとBumonの属性が、検索条件の指定項目として表示されます。検索条件として指定する属性値の内容を調べるために、属性のヒント情報を表示することもできます。

## ヒント情報の階層構造

ドキュメントスペース管理アプリケーションを使って、属性テンプレートに含める属性それぞれについて、ヒント情報を設定します。ドキュメントスペースの「ドキュメント登録」画面や「詳細検索」画面で、属性のヒント情報を必要に応じて参照できます。

ヒント情報には、次のような階層構造を持たせることができます。



直下に情報を持つ階層を「ノード」と呼びます。上記のヒント情報の例では、「/ (ルートノード)」、「長さ」、「電圧」、「その他」がノードとなります。また、直下に値だけを持つ階層は「リーフ」となります。この階層構造を、ヒント情報の記述形式で表すと次のようになります。

属性「単位」のヒント情報

ノードはラベルだけ記述します。リーフはラベルと値を「, (カンマ)」で区切って記述します。

ラベルの前の「, (カンマ)」は階層構造の深さを示します。

上記の階層構造は次のような表現で記述されます。

,長さ

,,mm,ミリメートル

,,km,キロメートル

,,μ,マイクロン

,,その他

,,,mile,マイル

,電圧

,,mV,ミリボルト

「, (カンマ)」1つで階層が1つ下がります。

**参照** ヒント情報とノードの設定方法については、[「属性のヒント値を作成／修正する手順」\(P.32\)](#)を参照してください。

## 3.4.2 属性テンプレートを新規作成する

ドキュメントスペースのシステム設定に割り当てる属性テンプレートを新規作成できます。  
ここでは、属性テンプレートを新規作成する手順を説明します。

### [属性テンプレート設定] 画面の構成

[属性テンプレート設定] 画面では、属性テンプレートの新規作成を行えます。ドキュメントスペースでオブジェクトの属性値を登録するときや、オブジェクトの検索、表示を行うときに、属性テンプレートを使用します。

図：[属性テンプレート設定] 画面

[属性テンプレート設定] 画面の各項目について説明します。

| 項目                   | 説明  |
|----------------------|---|
| [属性テンプレート名]          | 属性テンプレートの名前を入力します。  |
| [属性テンプレート] プルダウンメニュー | [属性一覧] に表示する属性を指定した属性テンプレートと同じ内容にします。選択しない場合には、すべての属性を表示します。                |
| [ネームスペース] プルダウンメニュー  | [属性一覧] に表示するネームスペースの属性を選択します。ネームスペースの属性を絞り込まない場合は、空白にします。                   |
| [表示名]                | [属性一覧] に表示する属性名を入力します。属性名を絞り込まない場合は、空白にします。                                 |
| [絞り込み]               | [表示名] に入力した条件で属性名を絞り込みます。   |
| [属性一覧]               | 属性テンプレートに含める候補の属性が表示されます。<br>属性テンプレートに属性を追加する場合に、[属性一覧] で対象の属性をクリックして選択します。 |
| [対象属性一覧]             | 属性テンプレートに含まれる属性が表示されます。<br>属性テンプレートから属性を外す場合に、[対象属性一覧] で対象の属性をクリックして選択します。  |
| [→追加]                | クリックすると、[属性一覧] で選択した属性が、[対象属性一覧] に移動します。                                    |
| [←削除]                | クリックすると、[対象属性一覧] で選択した属性が、[属性一覧] に移動します。                                    |

| 項目      | 説明   |
|---------|--|
| [↑]     | クリックすると、[対象属性一覧] 中で、選択した属性の順序が1つ上がります。<br><b>補足</b> [対象属性一覧] での順序が、属性テンプレートにおける属性の順序になります。 |
| [↓]     | クリックすると、[対象属性一覧] 中で、選択した属性の順序が1つ下がります。<br><b>補足</b> [対象属性一覧] での順序が、属性テンプレートにおける属性の順序になります。 |
| [検索・表示] | 新規作成する属性テンプレートを検索、および表示用を使用する場合に、[検索・表示] にチェックマークを付けます。                                    |
| [登録]    | 新規作成する属性テンプレートを登録用を使用する場合に、[登録] にチェックマークを付けます。   |
| [設定]    | クリックすると、[属性テンプレート設定] 画面の指定内容に基づいて、属性テンプレートが新規作成されます。<br>[属性テンプレート一覧] 画面に戻ります。              |
| [詳細]    | クリックすると、[属性テンプレート詳細設定] 画面が表示されます。  |

## 属性テンプレートを新規作成する手順

1. [ドキュメントスペース管理] 画面で、システム設定名のリンクをクリックします。  
[システム設定修正] 画面が表示されます。
2. [システム設定修正] 画面の [属性テンプレート] リンクをクリックします。  
[属性テンプレート一覧] 画面が表示されます。
3. [属性テンプレート一覧] 画面の [新規作成] をクリックします。  
[属性テンプレート設定] 画面が表示されます。
4. 必要に応じて、設定する属性テンプレートをフィルターします。
  - ◆ 属性テンプレートの属性から選択する場合
    - (1) [属性テンプレート] プルダウンメニューから、設定する属性テンプレートの属性を選択します。
  - ◆ ネームスペースの属性から選択する場合
    - (1) [ネームスペース] プルダウンメニューから、設定するネームスペースの属性を選択します。
  - ◆ 指定した文字列から選択する場合
    - (1) [表示名] テキストボックスに文字列を指定します。
    - (2) [絞り込み] をクリックします。  
[表示名] テキストボックスで指定した文字列を含んだ属性が、[属性一覧] に表示されます。
5. 必要に応じて、属性テンプレートに含める属性を決定します。
  - 補足** [属性テンプレート設定] 画面の [対象属性一覧] での属性が、属性テンプレートに含まれます。
  - ◆ 属性を属性テンプレートに追加する場合
    - (1) [属性一覧] で、属性テンプレートに追加する属性をクリックして選択します。複数選択できます。
    - (2) [→追加] をクリックします。  
手順 1 で選択した属性が、[対象属性一覧] の最後尾に移動します。

(3) 必要に応じて、手順 **1** ~ **2** を繰り返します。

◆ 属性を属性テンプレートから外す場合

(1) [対象属性一覧] で、属性テンプレートから外す属性をクリックして選択します。複数選択できます。

(2) [←削除] をクリックします。

手順 **1** で選択した属性が、[属性一覧] に移動します。

(3) 必要に応じて、手順 **1** ~ **2** を繰り返します。

**6.** 必要に応じて、属性の順序を変更します。

**補足** [属性テンプレート設定] 画面の [対象属性一覧] での順序が、属性テンプレートにおける属性の順序になります。

◆ 属性の順序を1つ上げる場合

(1) [対象属性一覧] で、順序を変更する属性をクリックして選択します。

(2) [↑] をクリックします。

手順 **1** で選択した属性の順序が1つ上がります。

◆ 属性値の順序を1つ下げる場合

(1) [対象属性一覧] で、順序を変更する属性をクリックして選択します。

(2) [↓] をクリックします。

手順 **1** で選択した属性の順序が1つ下がります。

**7.** 作成する属性テンプレートを検索、表示用に利用するかどうかを、[検索・表示] で指定します。

- ・ 検索、表示用に利用する場合：チェックマークを付ける
- ・ 検索、表示用に利用しない場合：チェックマークを外す

**8.** 作成する属性テンプレートを登録用に利用するかどうかを [登録] で指定します。

- ・ 登録用に利用する場合：チェックマークを付ける
- ・ 登録用に利用しない場合：チェックマークを外す

**9.** [設定] をクリックします。

属性テンプレートが新規作成されて、[属性テンプレート一覧] 画面に戻ります。

[属性テンプレート一覧] 画面に、新規作成した属性テンプレート名が表示されます。

**10.** 属性テンプレートに含める属性について、ドメイン値やヒント情報を設定する場合は、属性テンプレートの詳細設定を行います。

**参照** 属性テンプレートの詳細設定を行う手順については、[\[3.4.4 属性テンプレートの詳細設定を行う\]](#) (P.31) を参照してください。

**11.** [属性テンプレート一覧] 画面の [戻る] をクリックします。

[システム設定修正] 画面に戻ります。

**12.** [システム設定修正] 画面の [戻る] をクリックします。

[ドキュメントスペース管理] 画面に戻ります。

### 3.4.3 属性テンプレートを修正する

ドキュメントスペースのシステム設定に割り当てられている属性テンプレートを修正できます。ここでは、属性テンプレートを修正する手順を説明します。

#### 属性テンプレートを修正する手順

1. [ドキュメントスペース管理] 画面で、システム設定名のリンクをクリックします。  
[システム設定修正] 画面が表示されます。
2. [システム設定修正] 画面の [属性テンプレート] リンクをクリックします。  
[属性テンプレート一覧] 画面が表示されます。
3. [属性テンプレート一覧] 画面で、修正対象の属性テンプレート名のリンクをクリックします。  
修正対象の属性テンプレートの [属性テンプレート設定] 画面が表示されます。

4. 必要に応じて、設定する属性テンプレートをフィルターします。

##### ◆ 属性テンプレートの属性から選択する場合

- (1) [属性テンプレート] プルダウンメニューから、設定する属性テンプレートの属性を選択します。

##### ◆ ネームスペースの属性から選択する場合

- (1) [ネームスペース] プルダウンメニューから、設定するネームスペースの属性を選択します。

##### ◆ 指定した文字列から選択する場合

- (1) [表示名] テキストボックスに文字列を指定します。
- (2) [絞り込み] をクリックします。  
[表示名] テキストボックスで指定した文字列を含んだ属性が、[属性一覧] に表示されます。

5. 必要に応じて、属性テンプレートに含める属性を変更します。

**補足** [属性テンプレート設定] 画面の [対象属性一覧] での属性が、属性テンプレートに含まれます。

##### ◆ 属性を属性テンプレートに追加する場合

- (1) [属性一覧] で、属性テンプレートに追加する属性をクリックして選択します。複数選択できます。
- (2) [→追加] をクリックします。  
手順 1 で選択した属性が、[対象属性一覧] に移動します。
- (3) 必要に応じて、手順 1 ~ 2 を繰り返します。

##### ◆ 属性を属性テンプレートから外す場合

- (1) [対象属性一覧] で、属性テンプレートから外す属性をクリックして選択します。複数選択できます。
- (2) [←削除] をクリックします。  
手順 1 で選択した属性が、[属性一覧] に移動します。
- (3) 必要に応じて、手順 1 ~ 2 を繰り返します。

6. 必要に応じて、属性の順序を変更します。

**補足** [対象属性一覧] での順序が、属性テンプレートにおける属性の順序になります。

##### ◆ 属性の順序を 1 つ上げる場合

- (1) [対象属性一覧] で、順序を変更する属性をクリックして選択します。
- (2) [↑] をクリックします。  
手順 1 で選択した属性の順序が 1 つ上がります。

#### ◆ 属性値の順序を 1 つ下げる場合

(1) [対象属性一覧] で、順序を変更する属性をクリックして選択します。

(2) [↓] をクリックします。

手順 1 で選択した属性の順序が 1 つ下がります。

**7.** 属性テンプレートを検索、表示用に利用するかどうかを、[検索・表示] で指定します。

**8.** 属性テンプレートを登録用に利用するかどうかを [登録] で指定します。

**9.** 属性テンプレートに含める属性について、ドメイン値やヒント情報を修正する場合は、[詳細] をクリックして、属性テンプレートの詳細設定を行います。

**参照** 属性テンプレートの詳細設定を行う手順については、[\[3.4.4 属性テンプレートの詳細設定を行う\]](#) (P.31) を参照してください。

**10.** [設定] をクリックします。

属性テンプレートの内容が修正されて、[属性テンプレート一覧] 画面に戻ります。

**11.** [属性テンプレート一覧] 画面の [戻る] をクリックします。

[システム設定修正] 画面に戻ります。

**12.** [システム設定修正] 画面の [戻る] をクリックします。

[ドキュメントスペース管理] 画面に戻ります。

### 3.4.4 属性テンプレートの詳細設定を行う

ドキュメントスペースのシステム設定に割り当てる属性テンプレートを修正する場合に、属性テンプレートの詳細設定として、属性のヒント情報およびドメイン値を設定できます。

ここでは、属性テンプレートの詳細設定を行うための、次の手順を説明します。

- ・ [属性のヒント値を作成／修正する手順](#)
- ・ [属性のヒント値を削除する手順](#)
- ・ [属性のドメイン値（文字列型などの候補値）を作成／修正する手順](#)
- ・ [属性のドメイン値（文字列型などの正規表現）を作成／修正する手順](#)
- ・ [属性のドメイン値（Integer型）を作成／修正する手順](#)
- ・ [属性のドメイン値（Long型）を作成／修正する手順](#)
- ・ [属性のドメイン値（Double型）を作成／修正する手順](#)
- ・ [属性のドメイン値（日付型）を作成／修正する手順](#)
- ・ [属性のドメイン値（ブール型）を作成／修正する手順](#)
- ・ [属性のドメイン値を削除する手順](#)

#### [属性テンプレートヒント値設定] 画面の構成

[属性テンプレートヒント値設定] 画面では、属性テンプレートに含まれる属性にヒント情報を設定できます。属性値のヒント情報を確認しながら、ドキュメントスペースでオブジェクトの属性値を登録したり、検索条件を指定したりできます。



図：[属性テンプレートヒント値設定] 画面

[属性テンプレートヒント値設定] 画面の各項目について説明します。

| 項目        | 説明   |
|-----------|--|
| [ツリー] エリア | 属性をルートとするヒント値のツリー構造を表示します。   |
| [設定] エリア  | [ツリー] エリアで選択しているノードについて、下階層の値を設定します。   |
| [変更]      | テキスト入力フィールドの内容でヒント値を更新します。ただし、[属性テンプレートヒント値設定] 画面で [設定] をクリックして、[属性テンプレート設定] 画面の [設定] をクリックした時点で、ヒント値を更新します。 |

| 項目   | 説明  |
|------|---|
| [設定] | クリックすると、[属性テンプレート設定] 画面が表示されます。<br>[属性テンプレート設定] 画面の [設定] をクリックした時点で、[属性テンプレートヒント値設定] 画面の指定内容に基づいて、属性テンプレートに含まれる属性のヒント情報が設定されます。 |

## 属性のヒント値を作成／修正する手順

属性の値を入力するときに表示される候補値をヒント値といいます。

1. [属性テンプレート設定] 画面の [詳細] をクリックします。  
[属性テンプレート詳細設定] 画面が表示されます。
2. [属性テンプレート詳細設定] 画面で、ヒント値を作成または修正する属性の [作成] リンク／ [修正] リンクをクリックします。  
[属性テンプレート設定ヒント値設定] 画面が表示されます。

**補足** ・属性にヒント値が作成されている場合は、[作成] リンクは表示されません。  
・属性にヒント値が作成されていない場合は、[修正] リンクは表示されません。

3. 必要に応じて、ヒント情報を設定します。

### ◆ ノードを設定する場合

- (1) 画面左側のツリー部から、ノードを追加・修正・削除するノードを選択します。  
選択したノードの下位のノードが画面右側の設定部に表示されます。
- (2) 設定部の内容を修正します。

**参照** 記述形式については、[\[ヒント情報の階層構造\] \(P.24\)](#) を参照してください。

### ◆ ヒントの内容を設定する

- (1) 画面左側のツリー部から、ヒントの内容を追加・修正・削除するリーフを選択します。  
選択したリーフの値が画面右側の設定部に表示されます。
- (2) 設定部の内容を修正します。

4. [変更] をクリックします。  
ノードの階層構造、またはヒント値が更新されます。
5. 必要に応じて、手順 3～4 を繰り返して、ヒント情報を設定します。
6. すべてのノードの階層構造、またはヒント値が更新し終わったら、[設定] をクリックします。  
[属性テンプレート詳細設定] 画面に戻ります。
7. [戻る] をクリックします。  
[属性テンプレート設定] 画面に戻ります。

## 属性のヒント値を削除する手順

1. [属性テンプレート設定] 画面の [詳細] をクリックします。  
[属性テンプレート詳細設定] 画面が表示されます。
2. [属性テンプレート詳細設定] 画面で、ヒント値を削除する属性の [削除] リンクをクリックします。  
確認のダイアログボックスが表示されます。

**補足** 属性にヒント値が作成されていない場合は、[削除] リンクは表示されません。

3. 確認のダイアログボックスで [はい] をクリックします。  
属性のヒント値が削除されます。

## [属性テンプレート設定 ドメイン値設定 (String型)] 画面の構成

[属性テンプレート設定 ドメイン値設定 (String型)] 画面では、属性テンプレートに含まれる、文字列型、アトム型、プリンシパル型、URI型、またはユーザーロール型属性のドメイン値を設定できます。ドキュメントスペースでオブジェクトの属性値を設定するときに、ドメイン値の範囲内の値だけを指定できます。文字列型、アトム型、プリンシパル型、URI型、またはユーザーロール型の属性については、ドメイン値を候補値として設定する方法と、正規表現で設定する方法の2つがあります。

図：[属性テンプレート設定 ドメイン値設定 (String型)] 画面 (候補値)

図：[属性テンプレート設定 ドメイン値設定 (String型)] 画面 (正規表現)

[属性テンプレート設定 ドメイン値設定 (String型)] 画面の各項目について説明します。

| 項目            | 説明   |
|---------------|--|
| [属性テンプレート名]   | ドメイン値を設定する対象の属性が含まれている、属性テンプレート名が表示されます。   |
| [属性名]         | ドメイン値を設定する対象の属性の名前が表示されます。   |
| [ドメイン] ラジオボタン | 属性のドメイン値を、候補値で設定するか、正規表現で設定するかをラジオボタンで選択します。   |
| [候補値]         | 属性のドメイン値を候補値で設定する場合に、候補値を入力します。  |
| [候補値一覧]       | 属性のドメイン値を候補値で設定する場合に、属性のドメイン値 (候補値) が表示されます。   |
| [デフォルト値]      | デフォルトの属性値を入力します。   |
| [正規表現]        | 属性のドメイン値を正規表現で設定する場合に、ドメイン値を正規表現で入力します。  |
| [設定]          | クリックすると、[属性テンプレート詳細設定] 画面に戻ります。<br>[属性テンプレート詳細設定] 画面の [設定] をクリックした時点で、[属性テンプレート設定 ドメイン値設定 (String型)] 画面の指定内容に基づいて、属性のドメイン値が設定されます。 |

## 属性のドメイン値（文字列型などの候補値）を作成／修正する手順

1. [属性テンプレート設定] 画面の [詳細] をクリックします。  
[属性テンプレート詳細設定] 画面が表示されます。
2. [属性テンプレート詳細設定] 画面で、ドメイン値を作成または修正する文字列型、アトム型、プリンシパル型、URI 型、またはユーザーロール型属性の [作成] リンク／[修正] リンクをクリックします。  
[属性テンプレート設定ドメイン値設定 (String 型)] 画面が表示されます。
  - 補足** ・ 属性にドメイン値が作成されている場合は、[作成] リンクは表示されません。
  - ・ 属性にドメイン値が作成されていない場合は、[修正] リンクは表示されません。
3. [属性テンプレート設定 ドメイン値設定 (String 型)] 画面の [ドメイン] で [候補値] ラジオボタンを選択します。  
「ドメインを変更すると現在の設定は失われますがよろしいですか?」という確認メッセージが表示されます。
4. [OK] をクリックします。  
[候補値] に設定項目が表示されます。
5. ドメイン値の候補値を設定します。
  - 補足** [属性テンプレート設定 ドメイン値設定 (String 型)] 画面の [候補値] に表示されている 1 行が 1 つの候補値を表します。  
候補値の順序は、表示されている順序になります。
  - (1) 候補値を追加する場合は、[候補値] に 1 行追加し、候補値を入力します。
  - (2) 候補値を削除する場合は、[候補値] から、候補値の行を削除します。
  - (3) 必要に応じて、手順 [1](#) ～ [2](#) を繰り返します。
6. [デフォルト値] にデフォルト値の属性値を入力します。
  - 注記** 手順 [5](#) で、ドメイン値の候補値を設定した場合、[デフォルト値] の設定が必要です。
7. [設定] をクリックします。  
[属性テンプレート詳細設定] 画面に戻ります。
8. [戻る] をクリックします。  
[属性テンプレート設定] 画面に戻ります。

## 属性のドメイン値（文字列型などの正規表現）を作成／修正する手順

1. [属性テンプレート設定] 画面の [詳細] をクリックします。  
[属性テンプレート詳細設定] 画面が表示されます。
2. [属性テンプレート詳細設定] 画面で、ドメイン値を作成／修正する文字列型、アトム型、プリンシパル型、URI 型、またはユーザーロール型属性の [作成] リンク／[修正] リンクをクリックします。  
[属性テンプレート設定ドメイン値設定 (String 型)] 画面が表示されます。
  - 補足** ・ 属性にドメイン値が作成されている場合は、[作成] リンクは表示されません。
  - ・ 属性にドメイン値が作成されていない場合は、[修正] リンクは表示されません。
3. [属性テンプレート設定 ドメイン値設定 (String 型)] 画面の [ドメイン] で [正規表現] ラジオボタンを選択します。  
正規表現の設定項目が表示されます。
4. [正規表現] に、ドメイン値を正規表現で入力します。

5. [デフォルト値] に、属性のデフォルト値を入力します。  
デフォルト値を設定しない場合は、[デフォルト値] を空欄にします。
6. [設定] をクリックします。  
[属性テンプレート詳細設定] 画面に戻ります。
7. [属性テンプレート詳細設定] 画面の [設定] をクリックします。  
属性のドメイン値（正規表現）が属性テンプレートに設定されます。
8. [戻る] をクリックします。  
[属性テンプレート設定] 画面に戻ります。

## 属性のドメイン値（Integer 型）を作成／修正する手順

1. [属性テンプレート設定] 画面の [詳細] をクリックします。  
[属性テンプレート詳細設定] 画面が表示されます。
2. [属性テンプレート詳細設定] 画面で、ドメイン値を作成／修正する Integer 型属性の [作成] リンク／[修正] リンクをクリックします。  
[属性テンプレート設定ドメイン値設定（Integer 型）] 画面が表示されます。  
**補足** ・属性にドメイン値が作成されている場合は、[作成] リンクは表示されません。  
・属性にドメイン値が作成されていない場合は、[修正] リンクは表示されません。
3. [属性テンプレート設定ドメイン値設定（Integer 型）] 画面の [最小値] に、属性値の最小値を入力します。  
最小値を設定しない場合は、[最小値] を空欄にします。
4. [最大値] に、属性値の最大値を入力します。  
最大値を設定しない場合は、[最大値] を空欄にします。  
**補足** 「最大値 $\geq$ 最小値」となるように入力してください。
5. [デフォルト値] に、属性のデフォルト値を入力します。  
デフォルト値を設定しない場合は、[デフォルト値] を空欄にします。  
**補足** 「最大値 $\geq$ デフォルト値 $\geq$ 最小値」となるように入力してください。
6. [設定] をクリックします。  
[属性テンプレート詳細設定] 画面に戻ります。
7. [属性テンプレート詳細設定] 画面の [設定] をクリックします。  
属性のドメイン値（Integer 型）が属性テンプレートに設定されます。
8. [戻る] をクリックします。  
[属性テンプレート設定] 画面に戻ります。

## 属性のドメイン値（Long 型）を作成／修正する手順

1. [属性テンプレート設定] 画面の [詳細] をクリックします。  
[属性テンプレート詳細設定] 画面が表示されます。
2. [属性テンプレート詳細設定] 画面で、ドメイン値を作成／修正する Long 型属性の [作成] リンク／[修正] リンクをクリックします。  
[属性テンプレート設定ドメイン値設定（Long 型）] 画面が表示されます。  
**補足** ・属性にドメイン値が作成されている場合は、[作成] リンクは表示されません。  
・属性にドメイン値が作成されていない場合は、[修正] リンクは表示されません。

3. [属性テンプレート設定 ドメイン値設定 (Long 型)] 画面の [最小値] に、属性値の最小値を入力します。  
最小値を設定しない場合は、[最小値] を空欄にします。
4. [最大値] に、属性値の最大値を入力します。  
最大値を設定しない場合は、[最大値] を空欄にします。  
**補足** 「最大値 $\geq$ 最小値」となるように入力してください。
5. [デフォルト値] に、属性のデフォルト値を入力します。  
デフォルト値を設定しない場合は、[デフォルト値] を空欄にします。  
**補足** 「最大値 $\geq$ デフォルト値 $\geq$ 最小値」となるように入力してください。
6. [設定] をクリックします。  
[属性テンプレート詳細設定] 画面に戻ります。
7. [属性テンプレート詳細設定] 画面の [設定] をクリックします。  
属性のドメイン値 (Long 型) が属性テンプレートに設定されます。
8. [戻る] をクリックします。  
[属性テンプレート設定] 画面に戻ります。

## 属性のドメイン値 (Double 型) を作成／修正する手順

1. [属性テンプレート設定] 画面の [詳細] をクリックします。  
[属性テンプレート詳細設定] 画面が表示されます。
2. [属性テンプレート詳細設定] 画面で、ドメイン値を作成／修正する Double 型属性の [作成] リンク  
／ [修正] リンクをクリックします。  
[属性テンプレート設定ドメイン値設定 (Double 型)] 画面が表示されます。  
**補足** ・ 属性にドメイン値が作成されている場合は、[作成] リンクは表示されません。  
・ 属性にドメイン値が作成されていない場合は、[修正] リンクは表示されません。
3. [属性テンプレート設定 ドメイン値設定 (Double 型)] 画面の [最小値] に、属性値の最小値を入力します。  
最小値を設定しない場合は、[最小値] を空欄にします。
4. [最大値] に、属性値の最大値を入力します。  
最大値を設定しない場合は、[最大値] を空欄にします。  
**補足** 「最大値 $\geq$ 最小値」となるように入力してください。
5. [デフォルト値] に、属性のデフォルト値を入力します。  
デフォルト値を設定しない場合は、[デフォルト値] を空欄にします。  
**補足** 「最大値 $\geq$ デフォルト値 $\geq$ 最小値」となるように入力してください。
6. [設定] をクリックします。  
[属性テンプレート詳細設定] 画面に戻ります。
7. [属性テンプレート詳細設定] 画面の [設定] をクリックします。  
属性のドメイン値 (Double 型) が属性テンプレートに設定されます。
8. [戻る] をクリックします。  
[属性テンプレート設定] 画面に戻ります。

## 属性のドメイン値（日付型）を作成／修正する手順

1. [属性テンプレート設定] 画面の [詳細] をクリックします。  
[属性テンプレート詳細設定] 画面が表示されます。
2. [属性テンプレート詳細設定] 画面で、ドメイン値を作成／修正する日付型属性の [作成] リンク／[修正] リンクをクリックします。  
[属性テンプレート設定ドメイン値設定 (Date 型)] 画面が表示されます。
  - 補足** ・属性にドメイン値が作成されている場合は、[作成] リンクは表示されません。
  - ・属性にドメイン値が作成されていない場合は、[修正] リンクは表示されません。
3. [属性テンプレート設定 ドメイン値設定 (Date 型)] 画面の最小値の [年] に、日付の年を入力し、プルダウンメニューから月、日、時、分、秒を選択します。「月」、「日」、「時」、「分」、「秒」のプルダウンメニューは直接入力して指定することもできます。  
最小値を設定しない場合は、最小値のすべての項目を空欄にします。
  - 補足** テキストボックスに日時を直接文字列で指定することもできます。
4. 最大値の [年] に、日付の年を入力し、プルダウンメニューから月、日、時、分、秒を選択します。「月」、「日」、「時」、「分」、「秒」のプルダウンメニューは直接入力して指定することもできます。  
最大値を設定しない場合は、最大値のすべての項目を空欄にします。
  - 補足** ・「最大値 $\geq$ 最小値」となるように入力してください。
  - ・テキストボックスに日時を直接文字列で指定することもできます。
5. [デフォルト値] に、デフォルト値とする日付の年を入力し、プルダウンメニューから月、日、時、分、秒を選択します。「月」、「日」、「時」、「分」、「秒」のプルダウンメニューは直接入力して指定することもできます。  
デフォルト値を設定しない場合は、[デフォルト値] を空欄にします。
  - 補足** ・「最大値 $\geq$ デフォルト値 $\geq$ 最小値」となるように入力してください。
  - ・テキストボックスに日時を直接文字列で指定することもできます。
6. [設定] をクリックします。  
[属性テンプレート詳細設定] 画面に戻ります。
7. [属性テンプレート詳細設定] 画面の [設定] をクリックします。  
属性のドメイン値（日付型）が属性テンプレートに設定されます。
8. [戻る] をクリックします。  
[属性テンプレート設定] 画面に戻ります。

## 属性のドメイン値（ブール型）を作成／修正する手順

1. [属性テンプレート設定] 画面の [詳細] をクリックします。  
[属性テンプレート詳細設定] 画面が表示されます。
2. [属性テンプレート詳細設定] 画面で、ドメイン値を作成／修正する、ブール型属性の [作成] リンク／[修正] リンクをクリックします。  
[属性テンプレート設定ドメイン値設定 (Boolean 型)] 画面が表示されます。
  - 補足** ・属性にドメイン値が作成されている場合は、[作成] リンクは表示されません。
  - ・属性にドメイン値が作成されていない場合は、[修正] リンクは表示されません。
3. 属性のデフォルト値を [デフォルト値] のラジオボタンで選択します。
4. [設定] をクリックします。  
[属性テンプレート詳細設定] 画面に戻ります。

5. [属性テンプレート詳細設定] 画面の [設定] をクリックします。  
属性のドメイン値（ブール型）が属性テンプレートに設定されます。
6. [戻る] をクリックします。  
[属性テンプレート設定] 画面に戻ります。

## 属性のドメイン値を削除する手順

1. [属性テンプレート設定] 画面の [詳細] をクリックします。  
[属性テンプレート詳細設定] 画面が表示されます。
2. [属性テンプレート詳細設定] 画面で、ドメイン値を削除する属性の [削除] リンクをクリックします。  
確認のダイアログボックスが表示されます。  
**補足** 属性にドメイン値が作成されていない場合は、[削除] リンクは表示されません。
3. 確認のダイアログボックスで [はい] をクリックします。  
属性のドメイン値が削除されます。

### 3.4.5 属性テンプレートを削除する

ドキュメントスペースのシステム設定に割り当てられている属性テンプレートを削除できます。  
ここでは、属性テンプレートを削除する手順を説明します。

## 属性テンプレートを削除する手順

1. [ドキュメントスペース管理] 画面で、システム設定名のリンクをクリックします。  
[システム設定修正] 画面が表示されます。
2. [システム設定修正] 画面の [属性テンプレート] リンクをクリックします。  
[属性テンプレート一覧] 画面が表示されます。
3. [属性テンプレート一覧] 画面で、削除対象の属性テンプレートのチェックボックスにチェックマークを付けます。
4. [削除] をクリックします。  
手順 3 で選択した属性テンプレートがシステム設定から削除され、[属性テンプレート一覧] 画面のリストからも削除されます。
5. [戻る] をクリックします。  
[システム設定修正] 画面に戻ります。
6. [システム設定修正] 画面の [戻る] をクリックします。  
[ドキュメントスペース管理] 画面に戻ります。

## 3.4.6 属性テンプレートの順序を変更する

---

【属性テンプレート一覧】画面において、属性テンプレートの順序を変更できます。  
ここでは、属性テンプレートの順序を変更する手順を説明します。

### 属性テンプレートの順序を変更する手順

1. 【ドキュメントスペース管理】画面で、システム設定名のリンクをクリックします。  
【システム設定修正】画面が表示されます。
2. 【システム設定修正】画面の【属性テンプレート】リンクをクリックします。  
【属性テンプレート一覧】画面が表示されます。
3. 【属性テンプレート一覧】画面の【順序変更】をクリックします。  
【属性テンプレートの順序変更】画面が表示されます。
4. 【属性テンプレートの順序変更】画面の【属性テンプレートの順序】欄で順序変更する属性テンプレート設定名を選択します。
5. 必要に応じて、属性テンプレートの順序を変更します。
  - ◆ 属性テンプレートの順序を1つ上げる場合
    - (1) 【属性テンプレートの順序】で、属性テンプレートの順序を変更する属性をクリックして選択します。
    - (2) 【↑】をクリックします。  
手順 1 で選択した属性の属性テンプレートの順序が1つ上がります。
  - ◆ 属性テンプレートの順序を1つ下げる場合
    - (1) 【属性テンプレートの順序】で、属性テンプレートの順序を変更する属性をクリックして選択します。
    - (2) 【↓】をクリックします。  
手順 1 で選択した属性の属性テンプレートの順序が1つ下がります。
6. 【設定】をクリックします。  
変更した属性テンプレートの順序が保存され、【属性テンプレート一覧】画面に戻ります。

## 3.5 キャビネットに属性テンプレートを割り当てる

キャビネットごとに属性テンプレートを割り当てて、扱う属性テンプレートを限定できます。属性テンプレートを割り当てない場合は、そのキャビネットでは、すべての属性テンプレートを扱うこととなります。

**参照** 属性テンプレートの定義方法については、[\[3.4 属性テンプレートを設定する\]](#) (P.23) を参照してください。

ここでは、属性テンプレートの割り当てと削除の手順を説明します。

### キャビネットに属性テンプレートを割り当てる手順

1. [ドキュメントスペース管理] 画面で、システム設定名のリンクをクリックします。  
[システム設定修正] 画面が表示されます。
2. [システム設定修正] 画面の [属性テンプレートのキャビネット割り当て] リンクをクリックします。  
[属性テンプレートのキャビネット割り当て] 画面が表示されます。
3. サービスが複数ある場合は、[対象のサービス] プルダウンメニューから、対象となるサービスを選択します。
4. [割り当てのないキャビネット] プルダウンメニューで追加対象となるキャビネットを選択します。
5. [追加] をクリックします。  
キャビネットが追加されます。
6. 必要に応じて、キャビネットに対して、割り当て対象となる属性テンプレート行の [表示用] および [登録用] にチェックマークを付けます。  
**補足** [表示用] とは検索や表示のために利用する属性テンプレートです。  
[登録用] とはオブジェクトを登録するために利用する属性テンプレートです。
7. [設定] をクリックします。  
キャビネットに対して属性テンプレートが割り当てられます。

### キャビネットに割り当てた属性テンプレートを削除する手順

1. [属性テンプレートのキャビネット割り当て] 画面の [属性テンプレートのキャビネット割り当て表] で、割り当て解除対象となるキャビネットのキャビネット名の左にあるチェックボックスにチェックマークを付けます。
2. [削除] をクリックします。  
削除を確認するダイアログボックスが表示されます。
3. [OK] をクリックします。  
キャビネットが削除され、割り当てが解除されます。
4. [設定] をクリックします。  
属性テンプレートの割り当てが解除されます。

## 3.6 表示の設定を行う

---

ドキュメントスペースの [ドキュメント一覧] 画面に表示する属性や、表示のソート順などを、表示設定を作成することで設定できます。

表示設定はキャビネットごとに作成できます。キャビネットごとに表示設定を作成しない場合は、システム設定のデフォルトの表示設定を使用します。

### 3.6.1 表示設定全体を表示する

---

オブジェクトに対して表示属性やソート条件などの設定項目全体を表示します。設定項目のリンクをクリックすると、それぞれの設定画面が表示されます。

ここでは、表示設定全体を表示する手順を説明します。

#### [表示設定] 画面を表示する手順

1. [ドキュメントスペース管理] 画面で、システム設定名のリンクをクリックします。  
[システム設定修正] 画面が表示されます。
2. [システム設定修正] 画面の [表示] リンクをクリックします。  
[キャビネット毎の表示設定一覧] 画面が表示されます。
3. システム設定のデフォルトの表示設定を使用する場合、[デフォルトの表示設定を修正] リンクをクリックすると、[表示設定] 画面が表示されます。  
キャビネットごとの表示設定を使用する場合は、次の手順に進みます。
4. [キャビネット毎の表示設定一覧] 画面の該当するキャビネットの [作成] リンクをクリックします。すでに登録している表示設定を修正する場合は、[修正] リンクをクリックします。  
[表示設定] 画面が表示されます。

## 3.6.2 キャビネットの表示属性を設定する

ドキュメントスペースの [ドキュメント一覧] 画面の [リスト表示] エリアに、キャビネットの内容を表示する場合の表示属性を設定できます。

ここでは、キャビネットの表示属性を設定する手順を説明します。

**注記** キャビネットごとの表示属性は、キャビネットごとの表示設定を使用する状態でキャビネットを一覧できないため、デフォルトの表示設定だけに存在します。

### キャビネットの表示属性を設定する手順

1. [デフォルトの表示設定を修正] リンクをクリックして [表示設定] 画面を表示します。

**参照** [表示設定] 画面の表示方法については、[\[3.6.1 表示設定全体を表示する\] \(P.42\)](#) を参照してください。

2. [表示設定] 画面の [キャビネット：表示属性設定] リンクをクリックします。  
[表示設定 キャビネット表示属性設定] 画面が表示されます。

3. 必要に応じて、設定する属性テンプレートをフィルターします。

#### ◆ 属性テンプレートの属性から選択する場合

- (1) [属性テンプレート] プルダウンメニューから、設定する属性テンプレートの属性を選択します。

#### ◆ ネームスペースの属性から選択する場合

- (1) [ネームスペース] プルダウンメニューから、設定するネームスペースの属性を選択します。

#### ◆ 指定した文字列から選択する場合

- (1) [表示名] テキストボックスに文字列を指定します。
- (2) [絞り込み] をクリックします。  
[表示名] テキストボックスで指定した文字列を含んだ属性が、[属性一覧] に表示されます。

4. 必要に応じて、表示属性を設定します。

**補足** [表示設定 キャビネット表示属性設定] 画面の [表示属性一覧] に表示されている属性が、表示属性となります。

#### ◆ 属性を表示属性とする場合

- (1) [属性一覧] で、表示属性とする属性をクリックして選択します。複数選択できます。
- (2) [→追加] をクリックします。  
手順 1 で選択した属性が、[表示属性一覧] での最後尾に移動します。
- (3) 必要に応じて、手順 1 ~ 2 を繰り返します。

#### ◆ 属性を表示属性としない場合

- (1) [表示属性一覧] で、表示属性としない属性をクリックして選択します。複数選択できます。
- (2) [←削除] をクリックします。  
手順 1 で選択した属性が、[属性一覧] に移動します。
- (3) 必要に応じて、手順 1 ~ 2 を繰り返します。

5. 必要に応じて、属性の表示順を変更します。

**補足** [表示設定 キャビネット表示属性設定] 画面の [表示属性一覧] に表示されている順序で、属性の表示が行われます。

#### ◆ 表示順を 1 つ上げる場合

- (1) [表示属性一覧] で、順序を変更する属性をクリックして選択します。

- (2) [↑] をクリックします。  
手順 1 で選択した属性の表示順が 1 つ上がります。

◆ 表示順を 1 つ下げる場合

- (1) [表示属性一覧] で、順序を変更する属性をクリックして選択します。
- (2) [↓] をクリックします。  
手順 1 で選択した属性の表示順が 1 つ下がります。

6. 必要に応じて、属性の列幅を変更します。

**補足** [表示設定キャビネット表示属性設定] 画面の [表示属性一覧] に表示されている属性名に続けて、かっこ内に列幅、列幅を自動縮小／拡張する場合は [列幅の自動縮小] / [列幅の自動拡張] が表示されます。

- (1) [表示属性一覧] で、列幅を変更する属性をクリックして選択します。
- (2) [列幅] に属性の列幅として設定する値を入力します。
- (3) Web ブラウザーの幅に合わせて列幅を縮小する場合は、[列幅の自動縮小] にチェックマークを付けます。
- (4) Web ブラウザーの幅に合わせて列幅を拡張する場合は、[列幅の自動拡張] にチェックマークを付けます。
- (5) [変更] をクリックします。  
手順 1 で選択した属性の列幅が、手順 2 で入力した値に変更されます。  
列幅の自動拡張／自動縮小は、手順 3 および手順 4 の設定に変更されます。

7. [設定] をクリックします。  
キャビネットの表示属性が設定されて、[表示設定] 画面に戻ります。

8. [表示設定] 画面の [戻る] をクリックします。  
[表示設定一覧] 画面に戻ります。

9. [表示設定一覧] 画面の [戻る] をクリックします。  
[システム設定修正] 画面に戻ります。

10. [システム設定修正] 画面の [戻る] をクリックします。  
[ドキュメントスペース管理] 画面に戻ります。

### 3.6.3 キャビネットのソート順を設定する

ドキュメントスペースの [ドキュメント一覧] 画面の [リスト表示] エリアに、キャビネットの内容を表示する場合のソート順を設定できます。ソート条件としては、ソート対象とする属性、ソート優先順位、および属性値の昇順か降順かを設定します。

ここでは、キャビネットのソート順を設定する手順を説明します。

**注記** キャビネットごとの表示属性は、キャビネットごとの表示設定を使用する状態でキャビネットを一覧できないため、デフォルトの表示設定だけに存在します。

#### キャビネットのソート順を設定する手順

1. [デフォルトの表示設定を修正] リンクをクリックして [表示設定] 画面を表示します。

**参照** [表示設定] 画面の表示方法については、[\[3.6.1 表示設定全体を表示する\] \(P.42\)](#) を参照してください。

2. [表示設定] 画面の [キャビネット：ソート条件設定] リンクをクリックします。

[表示設定 キャビネットソート条件設定] 画面が表示されます。

3. 必要に応じて、設定する属性テンプレートをフィルターします。

##### ◆ 属性テンプレートの属性から選択する場合

- (1) [属性テンプレート] プルダウンメニューから、設定する属性テンプレートの属性を選択します。

##### ◆ ネームスペースの属性から選択する場合

- (1) [ネームスペース] プルダウンメニューから、設定するネームスペースの属性を選択します。

##### ◆ 指定した文字列から選択する場合

- (1) [表示名] テキストボックスに文字列を指定します。
- (2) [絞り込み] をクリックします。  
[表示名] テキストボックスで指定した文字列を含んだ属性が、[属性一覧] に表示されます。

4. 必要に応じて、ソート条件に含める属性を設定します。

**補足** [表示設定 キャビネットソート条件設定] 画面の [ソート属性一覧] に表示されている属性が、ソート条件に含まれます。

##### ◆ 属性をソート条件に追加する場合

- (1) [属性一覧] で、ソート条件に追加する属性をクリックして選択します。複数選択できます。
- (2) [→追加] をクリックします。  
手順 1 で選択した属性が、[ソート属性一覧] での最後尾に移動します。この時点では、「昇順」として追加されます。
- (3) 必要に応じて、手順 1 ~ 2 を繰り返します。

##### ◆ 属性をソート条件から外す場合

- (1) [ソート属性一覧] で、ソート条件から外す属性をクリックして選択します。複数選択できます。
- (2) [←削除] をクリックします。  
手順 1 で選択した属性が、[属性一覧] に移動します。
- (3) 必要に応じて、手順 1 ~ 2 を繰り返します。

#### 5. 必要に応じて、ソート優先順位を変更します。

**補足** [表示設定 キャビネットソート条件設定] 画面の [ソート属性一覧] に表示されている順序が、ソート優先順位となります。

##### ◆ ソート優先順位を1つ上げる場合

- (1) [ソート属性一覧] で、ソート優先順位を変更する属性をクリックして選択します。
- (2) [↑] をクリックします。  
手順 1 で選択した属性のソート優先順位が1つ上がります。

##### ◆ ソート優先順位を1つ下げる場合

- (1) [ソート属性一覧] で、ソート優先順位を変更する属性をクリックして選択します。
- (2) [↓] をクリックします。  
手順 1 で選択した属性のソート優先順位が1つ下がります。

#### 6. 必要に応じて、ソートの昇順、降順を変更します。

##### ◆ 昇順に変更する場合

- (1) [ソート属性一覧] で、昇順に変更する属性をクリックして選択します。
- (2) [昇順] をクリックします。  
手順 1 で選択した属性のソートが昇順に変更されます。

##### ◆ 降順に変更する場合

- (1) [ソート属性一覧] で、降順に変更する属性をクリックして選択します。
- (2) [降順] をクリックします。  
手順 1 で選択した属性のソートが降順に変更されます。

#### 7. [設定] をクリックします。

キャビネットのソート順が設定されて、[表示設定] 画面に戻ります。

#### 8. [表示設定] 画面の [戻る] をクリックします。

[表示設定一覧] 画面に戻ります。

#### 9. [表示設定一覧] 画面の [戻る] をクリックします。

[システム設定修正] 画面に戻ります。

#### 10. [システム設定修正] 画面の [戻る] をクリックします。

[ドキュメントスペース管理] 画面に戻ります。

## 3.6.4 ドロワーの表示属性を設定する

ドキュメントスペースの [ドキュメント一覧] 画面の [リスト表示] エリアに、ドロワーの内容を表示する場合の表示属性を設定できます。

ここでは、ドロワーの表示属性を設定する手順を説明します。

### ドロワーの表示属性を設定する手順

#### 1. [表示設定] 画面を表示します。

**参照** [表示設定] 画面の表示方法については、[\[3.6.1 表示設定全体を表示する\] \(P.42\)](#) を参照してください。

#### 2. [表示設定] 画面の [ドロワー：表示属性設定] リンクをクリックします。

#### 3. 必要に応じて、設定する属性テンプレートをフィルターします。

##### ◆ 属性テンプレートの属性から選択する場合

(1) [属性テンプレート] プルダウンメニューから、設定する属性テンプレートの属性を選択します。

##### ◆ ネームスペースの属性から選択する場合

(1) [ネームスペース] プルダウンメニューから、設定するネームスペースの属性を選択します。

##### ◆ 指定した文字列から選択する場合

(1) [表示名] テキストボックスに文字列を指定します。

(2) [絞り込み] をクリックします。

[表示名] テキストボックスで指定した文字列を含んだ属性が、[属性一覧] に表示されます。

#### 4. 必要に応じて、表示属性を設定します。

**補足** [表示設定 ドロワー表示属性設定] 画面の [表示属性一覧] に表示されている属性が、表示属性となります。

##### ◆ 属性を表示属性とする場合

(1) [属性一覧] で、表示属性とする属性をクリックして選択します。複数選択できます。

(2) [→追加] をクリックします。

手順 1 で選択した属性が、[表示属性一覧] での最後尾に移動します。

(3) 必要に応じて、手順 1 ~ 2 を繰り返します。

##### ◆ 属性を表示属性としない場合

(1) [表示属性一覧] で、表示属性としない属性をクリックして選択します。複数選択できます。

(2) [←削除] をクリックします。

手順 1 で選択した属性が、[属性一覧] に移動します。

(3) 必要に応じて、手順 1 ~ 2 を繰り返します。

#### 5. 必要に応じて、属性の表示順を変更します。

**補足** [表示設定 ドロワー表示属性設定] 画面の [表示属性一覧] に表示されている順序で、属性の表示が行われます。

##### ◆ 表示順を 1 つ上げる場合

(1) [表示属性一覧] で、順序を変更する属性をクリックして選択します。

(2) [↑] をクリックします。

手順 1 で選択した属性の表示順が 1 つ上がります。

#### ◆ 表示順を1つ下げる場合

- (1) [表示属性一覧] で、順序を変更する属性をクリックして選択します。
- (2) [↓] をクリックします。  
手順 1 で選択した属性の表示順が1つ下がります。

#### 6. 必要に応じて、属性の列幅を変更します。

**補足** [表示設定ドロワー表示属性設定] 画面の [表示属性一覧] に表示されている属性名に続けてかっこ内に列幅、列幅を自動縮小／拡張する場合は [列幅の自動縮小] / [列幅の自動拡張] が表示されます。

- (1) [表示属性一覧] で、列幅を変更する属性をクリックして選択します。
  - (2) [列幅] に属性の列幅として設定する値を入力します。
  - (3) Web ブラウザーの幅に合わせて列幅を縮小する場合は、[列幅の自動縮小] にチェックマークを付けます。
  - (4) Web ブラウザーの幅に合わせて列幅を拡張する場合は、[列幅の自動拡張] にチェックマークを付けます。
  - (5) [変更] をクリックします。  
手順 1 で選択した属性の列幅が、手順 2 で入力した値に変更されます。  
列幅の自動拡張／自動縮小は、手順 3 および手順 4 の設定に変更されます。
- #### 7. [設定] をクリックします。
- ドロワーの表示属性が設定されて、[表示設定] 画面に戻ります。
- #### 8. [表示設定] 画面の [戻る] をクリックします。
- [表示設定一覧] 画面に戻ります。
- #### 9. [表示設定一覧] 画面の [戻る] をクリックします。
- [システム設定修正] 画面に戻ります。
- #### 10. [システム設定修正] 画面の [戻る] をクリックします。
- [ドキュメントスペース管理] 画面に戻ります。

## 3.6.5 ドロワーのソート順を設定する

ドキュメントスペースの [ドキュメント一覧] 画面の [リスト表示] エリアに、ドロワーの内容を表示する場合のソート順を設定できます。ソート条件としては、ソート対象とする属性、ソート優先順位、および属性値の昇順か降順かを設定します。

ここでは、ドロワーのソート順を設定する手順を説明します。

### ドロワーのソート順を設定する手順

#### 1. [表示設定] 画面を表示します。

**参照** [表示設定] 画面の表示方法については、[\[3.6.1 表示設定全体を表示する\] \(P.42\)](#) を参照してください。

#### 2. [表示設定] 画面の [ドロワー：ソート条件設定] リンクをクリックします。

[表示設定 ドロワーソート条件設定] 画面が表示されます。

#### 3. 必要に応じて、設定する属性テンプレートをフィルターします。

##### ◆ 属性テンプレートの属性から選択する場合

(1) [属性テンプレート] プルダウンメニューから、設定する属性テンプレートの属性を選択します。

##### ◆ ネームスペースの属性から選択する場合

(1) [ネームスペース] プルダウンメニューから、設定するネームスペースの属性を選択します。

##### ◆ 指定した文字列から選択する場合

(1) [表示名] テキストボックスに文字列を指定します。

(2) [絞り込み] をクリックします。

[表示名] テキストボックスで指定した文字列を含んだ属性が、[属性一覧] に表示されます。

#### 4. 必要に応じて、ソート条件に含める属性を設定します。

**補足** [表示設定 ドロワーソート条件設定] 画面の [ソート属性一覧] に表示されている属性が、ソート条件に含まれます。

##### ◆ 属性をソート条件に追加する場合

(1) [属性一覧] で、ソート条件に追加する属性をクリックして選択します。複数選択できます。

(2) [→追加] をクリックします。

手順 1 で選択した属性が、[ソート属性一覧] での最後尾に移動します。この時点では、「昇順」として追加されます。

(3) 必要に応じて、手順 1 ~ 2 を繰り返します。

##### ◆ 属性をソート条件から外す場合

(1) [ソート属性一覧] で、ソート条件から外す属性をクリックして選択します。複数選択できます。

(2) [←削除] をクリックします。

手順 1 で選択した属性が、[属性一覧] に移動します。

(3) 必要に応じて、手順 1 ~ 2 を繰り返します。

#### 5. 必要に応じて、ソート優先順位を変更します。

**補足** [表示設定 ドロワーソート条件設定] 画面の [ソート属性一覧] に表示されている順序が、ソート優先順位となります。

##### ◆ ソート優先順位を 1 つ上げる場合

(1) [ソート属性一覧] で、ソート優先順位を変更する属性をクリックして選択します。

- (2) [↑] をクリックします。  
手順 1 で選択した属性のソート優先順位が 1 つ上がります。

◆ ソート優先順位を 1 つ下げる場合

- (1) [ソート属性一覧] で、ソート優先順位を変更する属性をクリックして選択します。  
(2) [↓] をクリックします。  
手順 1 で選択した属性のソート優先順位が 1 つ下がります。

6. 必要に応じて、ソートの昇順、降順を変更します。

◆ 昇順に変更する場合

- (1) [ソート属性一覧] で、昇順に変更する属性をクリックして選択します。  
(2) [昇順] をクリックします。  
手順 1 で選択した属性のソートが昇順に変更されます。

◆ 降順に変更する場合

- (1) [ソート属性一覧] で、降順に変更する属性をクリックして選択します。  
(2) [降順] をクリックします。  
手順 1 で選択した属性のソートが降順に変更されます。

7. [設定] をクリックします。  
ドロワーのソート順が設定されて、[表示設定] 画面に戻ります。

8. [表示設定] 画面の [戻る] をクリックします。  
[表示設定一覧] 画面に戻ります。

9. [表示設定一覧] 画面の [戻る] をクリックします。  
[システム設定修正] 画面に戻ります。

10. [システム設定修正] 画面の [戻る] をクリックします。  
[ドキュメントスペース管理] 画面に戻ります。

## 3.6.6 基本オブジェクトの表示属性を設定する

ドキュメントスペースの [ドキュメント一覧] 画面の [リスト表示] エリアに、基本オブジェクトの内容を表示する場合の表示属性を設定できます。

ここでは、基本オブジェクトの表示属性を設定する手順を説明します。

### 基本オブジェクトの表示属性を設定する手順

#### 1. [表示設定] 画面を表示します。

**参照** [表示設定] 画面の表示方法については、[\[3.6.1 表示設定全体を表示する\] \(P.42\)](#) を参照してください。

#### 2. [表示設定] 画面の [基本オブジェクト：表示属性設定] リンクをクリックします。

[表示設定 基本オブジェクト表示属性設定] 画面が表示されます。

#### 3. 必要に応じて、設定する属性テンプレートをフィルターします。

##### ◆ 属性テンプレートの属性から選択する場合

(1) [属性テンプレート] プルダウンメニューから、設定する属性テンプレートの属性を選択します。

##### ◆ ネームスペースの属性から選択する場合

(1) [ネームスペース] プルダウンメニューから、設定するネームスペースの属性を選択します。

##### ◆ 指定した文字列から選択する場合

(1) [表示名] テキストボックスに文字列を指定します。

(2) [絞り込み] をクリックします。

[表示名] テキストボックスで指定した文字列を含んだ属性が、[属性一覧] に表示されます。

#### 4. 必要に応じて、表示属性を設定します。

**補足** [表示設定 基本オブジェクト表示属性設定] 画面の [表示属性一覧] に表示されている属性が、表示属性となります。

##### ◆ 属性を表示属性とする場合

(1) [属性一覧] で、表示属性とする属性をクリックして選択します。複数選択できます。

(2) [→追加] をクリックします。

手順 1 で選択した属性が、[表示属性一覧] での最後尾に移動します。

(3) 必要に応じて、手順 1 ~ 2 を繰り返します。

##### ◆ 属性を表示属性としない場合

(1) [表示属性一覧] で、表示属性としない属性をクリックして選択します。複数選択できます。

(2) [←削除] をクリックします。

手順 1 で選択した属性が、[属性一覧] に移動します。

(3) 必要に応じて、手順 1 ~ 2 を繰り返します。

#### 5. 必要に応じて、属性の表示順を変更します。

**補足** [表示設定 基本オブジェクト表示属性設定] 画面の [表示属性一覧] に表示されている順序で、属性の表示が行われます。

##### ◆ 表示順を 1 つ上げる場合

(1) [表示属性一覧] で、順序を変更する属性をクリックして選択します。

(2) [↑] をクリックします。

手順 1 で選択した属性の表示順が 1 つ上がります。

#### ◆ 表示順を1つ下げる場合

- (1) [表示属性一覧] で、順序を変更する属性をクリックして選択します。
- (2) [↓] をクリックします。  
手順 1 で選択した属性の表示順が1つ下がります。

#### 6. 必要に応じて、属性の列幅を変更します。

**補足** [表示設定基本オブジェクト表示属性設定] 画面の [表示属性一覧] に表示されている属性名に続けてかっこ内に列幅、列幅を自動縮小／拡張する場合は [列幅の自動縮小] / [列幅の自動拡張] が表示されます。

- (1) [表示属性一覧] で、列幅を変更する属性をクリックして選択します。
  - (2) [列幅] に属性の列幅として設定する値を入力します。
  - (3) Web ブラウザーの幅に合わせて列幅を縮小する場合は、[列幅の自動縮小] にチェックマークを付けます。
  - (4) Web ブラウザーの幅に合わせて列幅を拡張する場合は、[列幅の自動拡張] にチェックマークを付けます。
  - (5) [変更] をクリックします。  
手順 1 で選択した属性の列幅が、手順 2 で入力した値に変更されます。  
列幅の自動拡張／自動縮小は、手順 3 および手順 4 の設定に変更されます。
- #### 7. [設定] をクリックします。
- 基本オブジェクトの表示属性が設定されて、[表示設定] 画面に戻ります。
- #### 8. [表示設定] 画面の [戻る] をクリックします。
- [表示設定一覧] 画面に戻ります。
- #### 9. [表示設定一覧] 画面の [戻る] をクリックします。
- [システム設定修正] 画面に戻ります。
- #### 10. [システム設定修正] 画面の [戻る] をクリックします。
- [ドキュメントスペース管理] 画面に戻ります。

## 3.6.7 基本オブジェクトのソート順を設定する

ドキュメントスペースの [ドキュメント一覧] 画面の [リスト表示] エリアに、基本オブジェクトの内容を表示する場合のソート順を設定できます。ソート条件としては、ソート対象とする属性、ソート優先順位、および属性値の昇順か降順かを設定します。

ここでは、基本オブジェクトのソート順を設定する手順を説明します。

### 基本オブジェクトのソート順を設定する手順

#### 1. [表示設定] 画面を表示します。

**参照** [表示設定] 画面の表示方法については、[\[3.6.1 表示設定全体を表示する\] \(P.42\)](#) を参照してください。

#### 2. [表示設定] 画面の [基本オブジェクト：ソート条件設定] リンクをクリックします。

[表示設定 基本オブジェクトソート条件設定] 画面が表示されます。

#### 3. 必要に応じて、設定する属性テンプレートをフィルターします。

##### ◆ 属性テンプレートの属性から選択する場合

(1) [属性テンプレート] プルダウンメニューから、設定する属性テンプレートの属性を選択します。

##### ◆ ネームスペースの属性から選択する場合

(1) [ネームスペース] プルダウンメニューから、設定するネームスペースの属性を選択します。

##### ◆ 指定した文字列から選択する場合

(1) [表示名] テキストボックスに文字列を指定します。

(2) [絞り込み] をクリックします。

[表示名] テキストボックスで指定した文字列を含んだ属性が、[属性一覧] に表示されます。

#### 4. 必要に応じて、ソート条件に含める属性を設定します。

**補足** [表示設定 基本オブジェクトソート条件設定] 画面の [ソート属性一覧] に表示されている属性が、ソート条件に含まれます。

##### ◆ 属性をソート条件に追加する場合

(1) [属性一覧] で、ソート条件に追加する属性をクリックして選択します。複数選択できます。

(2) [→追加] をクリックします。

手順 1 で選択した属性が、[ソート属性一覧] での最後尾に移動します。この時点では、「昇順」として追加されます。

(3) 必要に応じて、手順 1 ~ 2 を繰り返します。

##### ◆ 属性をソート条件から外す場合

(1) [ソート属性一覧] で、ソート条件から外す属性をクリックして選択します。複数選択できます。

(2) [←削除] をクリックします。

手順 1 で選択した属性が、[属性一覧] に移動します。

(3) 必要に応じて、手順 1 ~ 2 を繰り返します。

#### 5. 必要に応じて、ソート優先順位を変更します。

**補足** [表示設定 基本オブジェクトソート条件設定] 画面の [ソート属性一覧] に表示されている順序が、ソート優先順位となります。

##### ◆ ソート優先順位を 1 つ上げる場合

(1) [ソート属性一覧] で、ソート優先順位を変更する属性をクリックして選択します。

(2) [↑] をクリックします。

手順 1 で選択した属性のソート優先順位が 1 つ上がります。

◆ ソート優先順位を 1 つ下げる場合

(1) [ソート属性一覧] で、ソート優先順位を変更する属性をクリックして選択します。

(2) [↓] をクリックします。

手順 1 で選択した属性のソート優先順位が 1 つ下がります。

6. 必要に応じて、ソートの昇順、降順を変更します。

◆ 昇順に変更する場合

(1) [ソート属性一覧] で、昇順に変更する属性をクリックして選択します。

(2) [昇順] をクリックします。

手順 1 で選択した属性のソートが昇順に変更されます。

◆ 降順に変更する場合

(1) [ソート属性一覧] で、降順に変更する属性をクリックして選択します。

(2) [降順] をクリックします。

手順 1 で選択した属性のソートが降順に変更されます。

7. [設定] をクリックします。

基本オブジェクトのソート順が設定されて、[表示設定] 画面に戻ります。

8. [表示設定] 画面の [戻る] をクリックします。

[表示設定一覧] 画面に戻ります。

9. [表示設定一覧] 画面の [戻る] をクリックします。

[システム設定修正] 画面に戻ります。

10. [システム設定修正] 画面の [戻る] をクリックします。

[ドキュメントスペース管理] 画面に戻ります。

## 3.6.8 共通項目の表示内容を設定する

ドキュメントスペースの [ドキュメント一覧] 画面の表示内容を設定できます。ここで設定する表示内容は、設定が適用される画面表示で共通の設定内容です。

### 表示内容を設定する手順

1. [表示設定] 画面を表示します。

**参照** [表示設定] 画面の表示方法については、[\[3.6.1 表示設定全体を表示する\] \(P.42\)](#) を参照してください。

2. [表示設定] 画面の [共通項目：共通項目] リンクをクリックします。

[表示設定 共通項目] 画面が表示されます。

3. ドキュメントスペースの [ドキュメント一覧] 画面に、[階層ツリー] エリアを表示するかどうかを [ツリー表示 (必須)] のラジオボタンで選択します。

4. ドキュメントスペースの [ドキュメント一覧] 画面に、[プロパティウィンドウ] エリアを表示するかどうかを [プロパティウィンドウ表示 (必須)] のラジオボタンで選択します。

5. ドキュメントスペースの [ドキュメント一覧] 画面に、[プロパティウィンドウ] エリアをどこに表示するかどうかを [プロパティウィンドウ表示位置 (必須)] のラジオボタンで選択します。

6. ドキュメントスペースの [ドキュメント一覧] 画面の表示形式を、[表示形式 (必須)] ラジオボタンで選択します。

**補足** 全文検索の検索結果をハイライト表示するためには、キャビネットごとに、あらかじめ検索結果のハイライトを可能にして「全文検索インデックスの初期化」を実行する必要があります。なお、全文検索インデックスの初期化は、キャビネットに登録されている文書の数などによって、時間がかかることがあります。

**参照** ハイライト表示を設定する方法については、『ドキュメント管理サービス管理者ガイド』、『ドキュメント管理サービス管理アプリケーションのヘルプデスクトップ版』、または『ドキュメント管理サービス管理アプリケーションのヘルプ Web 版』を参照してください。

7. ドキュメントスペースの [ドキュメント一覧] 画面での表示対象の版を、[表示対象の版 (必須)] ラジオボタンで設定します。

8. [最大表示件数 (必須)] に、ドキュメントスペースの [ドキュメント一覧] 画面での最大表示件数を入力します。

9. [1 ページの表示件数 (必須)] に、ドキュメントスペースの [ドキュメント一覧] 画面でのページあたりの表示件数を入力します。

10. [画像表示デフォルトコンテンツラベル (必須)] プルダウンメニューから、ドキュメントスペースの [ドキュメント一覧] 画面でのコンテンツラベルを選択します。

11. [設定] をクリックします。

表示内容が設定されて、[表示設定] 画面に戻ります。

12. [表示設定] 画面の [戻る] をクリックします。

[表示設定一覧] 画面に戻ります。

13. [表示設定一覧] 画面の [戻る] をクリックします。

[システム設定修正] 画面に戻ります。

14. [システム設定修正] 画面の [戻る] をクリックします。

[ドキュメントスペース管理] 画面に戻ります。

## 3.7 属性コピーの設定を行う

ドキュメントスペースで「属性コピー」操作を行うときにコピーする属性を設定できます。ここでは、属性コピーの設定を行う手順を説明します。

### 属性コピーの設定を行う手順

1. [ドキュメントスペース管理] 画面で、システム設定名のリンクをクリックします。  
[システム設定修正] 画面が表示されます。
2. [システム設定修正] 画面の [属性コピー] リンクをクリックします。  
[属性コピー設定] 画面が表示されます。
3. 必要に応じて、設定する属性テンプレートをフィルターします。
  - ◆ 属性テンプレートの属性から選択する場合
    - (1) [属性テンプレート] プルダウンメニューから、設定する属性テンプレートの属性を選択します。
  - ◆ ネームスペースの属性から選択する場合
    - (1) [ネームスペース] プルダウンメニューから、設定するネームスペースの属性を選択します。
  - ◆ 指定した文字列から選択する場合
    - (1) [表示名] テキストボックスに文字列を指定します。
    - (2) [絞り込み] をクリックします。  
[表示名] テキストボックスで指定した文字列を含んだ属性が、[属性一覧] に表示されます。
4. 必要に応じて、属性コピー操作でコピーする属性を設定します。
  - 補足** [属性コピー設定] 画面の [コピー対象属性一覧] に表示されている属性が、属性コピー操作でコピーされます。
  - ◆ 属性をコピー対象とする場合
    - (1) [属性一覧] で、コピー対象とする属性をクリックして選択します。複数選択できます。
    - (2) [→追加] をクリックします。  
手順 1 で選択した属性が、[コピー対象属性一覧] での最後尾に移動します。
    - (3) 必要に応じて、手順 1 ~ 2 を繰り返します。
  - ◆ 属性をコピー対象から外す場合
    - (1) [コピー対象属性一覧] で、コピー対象から外す属性をクリックして選択します。複数選択できます。
    - (2) [←削除] をクリックします。  
手順 1 で選択した属性が、[属性一覧] に移動します。
    - (3) 必要に応じて、手順 1 ~ 2 を繰り返します。
5. [設定] をクリックします。  
属性コピーの設定が行われて、[システム設定修正] 画面に戻ります。
6. [システム設定修正] 画面の [戻る] をクリックします。  
[ドキュメントスペース管理] 画面に戻ります。

## 3.8 リファレンス登録、更新時の属性コピーの設定を行う

ドキュメントスペースで「リファレンス登録」操作、または「リファレンス更新」操作を行うときに、参照先オブジェクトからコピーする属性（ユーザー属性）を設定できます。

ここでは、リファレンス登録、更新時の属性コピーの設定を行う手順を説明します。

### リファレンス登録、更新時の属性コピーを設定する手順

1. [ドキュメントスペース管理] 画面で、システム設定名のリンクをクリックします。  
[システム設定修正] 画面が表示されます。

2. [システム設定修正] 画面の [リファレンス] リンクをクリックします。  
[リファレンス設定] 画面が表示されます。

3. 必要に応じて、設定する属性テンプレートをフィルターします。

#### ◆ 属性テンプレートの属性から選択する場合

- (1) [属性テンプレート] プルダウンメニューから、設定する属性テンプレートの属性を選択します。

#### ◆ ネームスペースの属性から選択する場合

- (1) [ネームスペース] プルダウンメニューから、設定するネームスペースの属性を選択します。

#### ◆ 指定した文字列から選択する場合

- (1) [表示名] テキストボックスに文字列を指定します。
- (2) [絞り込み] をクリックします。  
[表示名] テキストボックスで指定した文字列を含んだ属性が、[属性一覧] に表示されます。

4. 必要に応じて、リファレンス登録時に、参照先オブジェクトからコピーする属性を設定します。

**補足** [リファレンス設定] 画面の [リファレンス作成時：取得対象属性一覧] に表示されている属性が、参照先オブジェクトからコピーされます。

#### ◆ 属性をコピー対象とする場合

- (1) [リファレンス設定] 画面の [リファレンス作成時：属性一覧] で、コピー対象とする属性をクリックして選択します。複数選択できます。
- (2) [リファレンス作成時：→追加] をクリックします。  
手順 1 で選択した属性が、[リファレンス作成時：取得対象属性一覧] での最後尾に移動します。
- (3) 必要に応じて、手順 1 ~ 2 を繰り返します。

#### ◆ 属性をコピー対象から外す場合

- (1) [リファレンス作成時：取得対象属性一覧] で、コピー対象としない属性をクリックして選択します。複数選択できます。
- (2) [リファレンス作成時：←削除] をクリックします。  
手順 1 で選択した属性が、[リファレンス作成時：属性一覧] に移動します。
- (3) 必要に応じて、手順 1 ~ 2 を繰り返します。

5. 必要に応じて、リファレンス更新時に、参照先オブジェクトからコピーする属性を設定します。

**補足** [リファレンス設定] 画面の [リファレンス更新時：取得対象属性一覧] に表示されている属性が、参照先オブジェクトからコピーされます。

#### ◆ 属性をコピー対象とする場合

- (1) [リファレンス更新時：属性一覧] で、コピー対象とする属性をクリックして選択します。複数選択できます。

(2) [リファレンス更新時：→追加] をクリックします。

手順 1 で選択した属性が、[リファレンス更新時：取得対象属性一覧] での最後尾に移動します。

(3) 必要に応じて、手順 1 ～ 2 を繰り返します。

◆ 属性をコピー対象から外す場合

(1) [リファレンス更新時：取得対象属性一覧] で、コピー対象としない属性をクリックして選択します。複数選択できます。

(2) [リファレンス更新時：←削除] をクリックします。

手順 1 で選択した属性が、[リファレンス更新時：属性一覧] に移動します。

(3) 必要に応じて、手順 1 ～ 2 を繰り返します。

6. [設定] をクリックします。

リファレンス登録、更新時の属性コピーの設定が行われて、[システム設定修正] 画面に戻ります。

7. [システム設定修正] 画面の [戻る] をクリックします。

[ドキュメントスペース管理] 画面に戻ります。

## 3.9 簡易検索の設定を行う

ドキュメントスペースで簡易検索を行うときの検索方法、および検索結果の表示形式を設定できます。ここでは、簡易検索の設定を行う手順を説明します。

### 簡易検索の設定を行う手順

1. [ドキュメントスペース管理] 画面で、システム設定名のリンクをクリックします。  
[システム設定修正] 画面が表示されます。
2. [システム設定修正] 画面の [簡易検索] リンクをクリックします。  
[簡易検索設定] 画面が表示されます。
3. ドキュメントスペースの簡易検索で属性検索を行うかどうかを、[簡易検索設定] 画面の [検索対象] のラジオボタンで選択します。
4. ドキュメントスペースの簡易検索での検索方法を、[簡易検索設定] 画面の [検索方法] のラジオボタンで選択します。
  - 注記** ・ 検索方法の選択は、検索対象を [属性検索] にしたときだけ有効です。
  - ・ 検索対象を [両方] にした場合も、[属性検索] にだけ有効です。
  - ・ 検索対象を [全文検索] にした場合、検索方法の選択は、検索結果に影響を与えません。
5. ドキュメントスペースの簡易検索で次の条件を指定する場合は、[オプション] のチェックボックスにチェックマークを付けます。
  - 注記** ・ オプションの選択は、検索対象を [属性検索] にしたときだけ有効です。
  - ・ 検索対象を [両方] にした場合も、[属性検索] にだけ有効です。
  - ・ 検索対象を [全文検索] にした場合、オプションの選択は、検索結果に影響を与えません。
  - 補足** 全文検索の検索結果をハイライト表示するためには、キャビネットごとに、あらかじめ検索結果のハイライトを可能にして「全文検索インデックスの初期化」を実行する必要があります。なお、全文検索インデックスの初期化は、キャビネットに登録されている文書の数などによって、時間がかかることがあります。
  - 参照** ハイライト表示を設定する方法については、『ドキュメント管理サービス管理者ガイド』、『ドキュメント管理サービス管理アプリケーションのヘルプ デスクトップ版』、または『ドキュメント管理サービス管理アプリケーションのヘルプ Web 版』を参照してください。
6. 必要に応じて、検索対象に含める属性を変更します。
  - ◆ 属性を検索対象に含める場合
    - (1) [検索しない属性] で、検索対象に含める属性をクリックして選択します。複数選択できます。
    - (2) [→検索する属性にする] をクリックします。
    - (3) 手順 1 で選択した属性が、[検索する属性] に移動します。
    - (4) 必要に応じて、手順 1 ~ 2 を繰り返します。
  - ◆ 属性を検索対象から外す場合
    - (1) [検索する属性] で、検索対象から外す属性をクリックして選択します。複数選択できます。
    - (2) [←検索しない属性にする] をクリックします。
    - (3) 手順 1 で選択した属性が、[検索しない属性] に移動します。
    - (4) 必要に応じて、手順 1 ~ 2 を繰り返します。
7. [設定] をクリックします。  
簡易検索の設定が行われて、[システム設定修正] 画面に戻ります。

8. [システム設定修正] 画面の [戻る] をクリックします。  
[ドキュメントスペース管理] 画面に戻ります。

## 3.10 ダウンロード、アップロードの設定を行う

ドキュメントスペースでダウンロードするときの圧縮形式とダウンロードファイル名、およびダウンロード、アップロードするときの最大データサイズを設定できます。

ここでは、ダウンロード、アップロードの設定を行う手順を説明します。

### ダウンロード、アップロードの設定を行う手順

1. [ドキュメントスペース管理] 画面で、システム設定名のリンクをクリックします。  
[システム設定修正] 画面が表示されます。
2. [システム設定修正] 画面の [ダウンロード/アップロード] リンクをクリックします。  
[ダウンロード/アップロード設定] 画面が表示されます。
3. [ダウンロード/アップロード設定] 画面の [アーカイブ方法] プルダウンメニューから、ドキュメントスペースでダウンロードするとき使用するアーカイブ方法を選択します。  
**補足** 現在選択できるアーカイブ方法は、[zip] だけです。
4. ダウンロードするときのファイル名を、[ダウンロードファイル名] ラジオボタンから選択します。
5. [最大データサイズ] に、ダウンロードおよびアップロードするときの最大データサイズを、M バイト単位で入力します。
6. [設定] をクリックします。  
ダウンロード、アップロードの設定が行われて、[システム設定修正] 画面に戻ります。
7. [システム設定修正] 画面の [戻る] をクリックします。  
[ドキュメントスペース管理] 画面に戻ります。
8. アップロードする最大データサイズに、28.6 MB より大きな値を設定した場合、ArcSuite のサーバーで Internet Information Services の設定を変更します。

**参照** 詳細については、『セットアップガイド』の「2.1.2 Windows の環境設定」を参照してください。

## 3.11 フォーマットの設定を行う

---

ドキュメントスペースのシステム設定に割り当てるフォーマットの新規作成、修正、および削除を行えます。フォーマットごとに、MIME TYPE、およびドキュメント情報の更新の処理内容を定義します。

### 3.11.1 フォーマットを新規作成する

---

ドキュメントスペースのシステム設定に割り当てるフォーマットを新規作成できます。ここでは、フォーマットを新規作成する手順を説明します。

#### フォーマットを新規作成する手順

1. [ドキュメントスペース管理] 画面で、システム設定名のリンクをクリックします。  
[システム設定修正] 画面が表示されます。
2. [システム設定修正] 画面の [フォーマット] リンクをクリックします。  
[フォーマット設定] 画面が表示されます。
3. [フォーマット設定] 画面で設定する [MIME TYPE] の [新規作成] をクリックします。
4. [フォーマット名] に、フォーマット名を入力します。
5. ドキュメント情報の更新でインデックス画像を作成するかどうかを、[インデックス画像] で選択します。
6. ドキュメント情報の更新で部分画像を作成するかどうかを、[部分画像] で選択します。
7. ドキュメント情報の更新でプリント画像を作成するかどうかを、[プリント画像] で選択します。
8. ドキュメント情報の更新でトップネイル画像を作成するかどうかを、[トップネイル画像] で選択します。
9. ドキュメント情報の更新でサムネイル画像を作成するかどうかを、[サムネイル画像] で選択します。
10. [設定] をクリックします。  
フォーマットが新規作成されて、[システム設定修正] 画面に戻ります。
11. [システム設定修正] 画面の [戻る] をクリックします。  
[ドキュメントスペース管理] 画面に戻ります。

## 3.11.2 フォーマットを修正する

---

ドキュメントスペースのシステム設定に割り当てられているフォーマットの内容を修正できます。ここでは、フォーマットを修正する手順を説明します。

### フォーマットを修正する手順

1. [ドキュメントスペース管理] 画面で、システム設定名のリンクをクリックします。  
[システム設定修正] 画面が表示されます。
2. [システム設定修正] 画面の [フォーマット] リンクをクリックします。  
[フォーマット設定] 画面が表示されます。
3. [フォーマット設定] 画面で、修正対象の [フォーマット名] テキストボックスを修正します。
4. ドキュメント情報の更新でインデックス画像を作成するかどうかを、[インデックス画像] で選択します。
5. ドキュメント情報の更新で部分画像を作成するかどうかを、[部分画像] で選択します。
6. ドキュメント情報の更新でプリント画像を作成するかどうかを、[プリント画像] で選択します。
7. ドキュメント情報の更新でトップネイル画像を作成するかどうかを、[トップネイル画像] で選択します。
8. ドキュメント情報の更新でサムネイル画像を作成するかどうかを、[サムネイル画像] で選択します。
9. [設定] をクリックします。  
フォーマットが修正されて、[システム設定修正] 画面に戻ります。
10. [システム設定修正] 画面の [戻る] をクリックします。  
[ドキュメントスペース管理] 画面に戻ります。

## 3.11.3 フォーマットを削除する

---

ドキュメントスペースのシステム設定に割り当てられているフォーマットを削除できます。ここでは、フォーマットを削除する手順を説明します。

### フォーマットを削除する手順

1. [ドキュメントスペース管理] 画面で、システム設定名のリンクをクリックします。  
[システム設定修正] 画面が表示されます。
2. [システム設定修正] 画面の [フォーマット] リンクをクリックします。  
[フォーマット設定] 画面が表示されます。
3. [フォーマット設定] 画面で、削除対象のフォーマットの [削除] をクリックします。
4. [設定] をクリックします。  
フォーマットが削除されて、[システム設定修正] 画面に戻ります。
5. [システム設定修正] 画面の [戻る] をクリックします。  
[ドキュメントスペース管理] 画面に戻ります。

# 4 ユーザー設定を行う

ドキュメントスペース管理アプリケーションを使って、ドキュメントスペースのユーザー設定を行う手順を説明します。

## 4.1 ユーザー設定を行う

### ユーザー設定

ドキュメントスペース管理アプリケーションのシステム設定のうち、一部の設定項目を、「ユーザー設定」として個別に変更できます。ユーザー設定には、次の設定項目が含まれます。

- ・表示の設定
- ・簡易検索の設定
- ・ダウンロード、アップロード操作の設定
- ・操作カスタマイズの設定

ユーザー設定については、複数作成できます。また、作成したユーザー設定は削除できます。ユーザー設定には、任意の名前とコメントを設定できます。

たとえば、「開発課用」というユーザー設定を作成し、開発課のスタッフがドキュメントスペースを使用するときに「ドキュメント一覧」画面に表示する属性や、簡易検索の内容を設定します。ユーザー設定「開発課用」に設定されていない項目については、システム設定が適用されます。

### デフォルトのユーザー設定

システム設定とユーザー設定は言語ごとに管理されています。

ドキュメントスペース管理画面の言語依存設定セレクターを切り替えることで、編集対象の言語を選択できます。

**注記** システム設定およびユーザー設定は、必ず言語ごとに同じ設定にしてください。言語ごとに設定が異なると、ユーザーによっては意図していない表示やアクセスが許可されることとなります。

**参照** ・システム設定については、[\[3 システム設定を行う\] \(P.19\)](#) を参照してください。  
・ユーザー設定の言語の変更方法については、[\[4.2 ユーザー設定の言語を変更する\] \(P.66\)](#) を参照してください。

システム設定では、その言語における基本的な情報を設定できます。

ユーザー設定では、システム設定の一部をカスタマイズしてユーザーに提供できます。

ドキュメントスペースを利用する場合はシステム設定をそのまま使うか、1つのユーザー設定を使うことになります。

どのユーザー設定を使うかはユーザー割り当てにより設定します。

ユーザー割り当てでは、ユーザー、グループ、またはユーザーロールに対してユーザー設定を割り当てられるため、ユーザーによっては複数のユーザー設定が割り当てられることがあります。

この場合に実際に使われるユーザー設定は次の優先度順で決定します。

- (1) ユーザー個人に割り当てられているユーザー設定
- (2) グループまたはユーザーロールに割り当てられているユーザー設定の中で、若い順番のユーザー設定
- (3) デフォルトのユーザー設定（またはシステム設定）

デフォルトのユーザー設定は、ユーザー割り当てが特にされていないユーザーが使用するユーザー設定で、「ドキュメントスペース管理」画面のシステム設定とユーザー設定の表の第一カラムにあるラジオボタンで選択します。

ライセンスを付与されたばかりのユーザーに多くの権限を付与したくないときなどは、多くの操作などを禁止したユーザー設定をデフォルトのユーザー設定としておくことである程度の制限を実現できます。

また、ユーザー設定選択権がないユーザーであっても、グループおよびユーザーロールに割り当てられているユーザー設定は、ドキュメントスペースのユーザー設定操作において選択できます。

ユーザー設定操作で選択すると、そのユーザーに選択したユーザー設定を割り当てることになるため、選択したユーザー設定を優先して使うようになります。

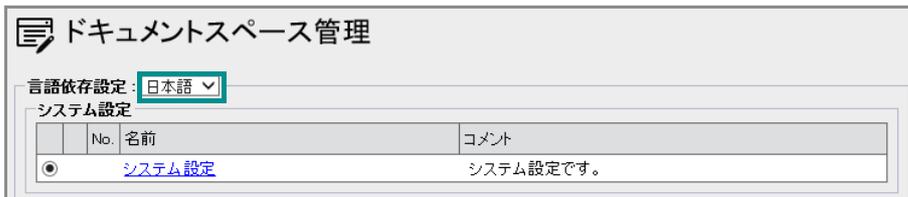
## 4.2 ユーザー設定の言語を変更する

英語または簡体字中国語のユーザーがドキュメントスペースを使う場合、日本語のユーザー設定を作成したり、変更したりしたら、それぞれの言語でユーザー設定を作成、変更する必要があります。

たとえば、日本語でユーザー設定を作成した場合、英語も同じ設定のユーザー設定を作成します。

### ユーザー設定の言語を変更する手順

1. [ドキュメントスペース管理] 画面で、[言語依存設定] のプルダウンメニューから言語を選択します。



2. 日本語のユーザー設定と同じ内容で、ユーザー設定を作成します。日本語のユーザー設定を変更した場合は、日本語と同じ内容でユーザー設定を変更します。

**補足** 変更しない場合は、言語に設定されたデフォルトの設定、またはすでに設定されている内容になります。

3. 日本語のユーザー設定の数だけ、手順 2 を繰り返します。
4. [言語依存設定] のプルダウンメニューに表示される言語の数だけ、手順 1 ~ 3 を繰り返します。

## 4.3 ユーザー設定を新規作成する

ドキュメントスペースのユーザー設定を新規作成できます。  
ここでは、ユーザー設定を新規作成する手順を説明します。

### ユーザー設定を新規作成する手順

1. [ドキュメントスペース管理] 画面の [ユーザー設定] エリアの [新規作成] をクリックします。  
[ユーザー設定 新規作成] 画面が表示されます。
2. [ユーザー設定 新規作成] 画面の [名前] に、ユーザー設定名を入力します。  
**補足** ユーザー設定名として入力できるのは、1～256バイトの文字列です。空白文字、および特殊文字の使用は避けてください。
3. [コメント] に、ユーザー設定についてのコメントを入力します。  
**補足** ユーザー設定のコメントとして入力できるのは、1～256バイトの文字列です。
4. [コピー元設定] プルダウンメニューから、設定内容のコピー元とする、システム設定または作成済みのユーザー設定を選択します。
5. [新規作成] をクリックします。  
ユーザー設定が新規作成されて、[ドキュメントスペース管理] 画面に戻ります。  
[ドキュメントスペース管理] 画面の [ユーザー設定] のリストに、新規作成したユーザー設定名が表示されます。

## 4.4 ユーザー設定の名前とコメントを修正する

---

ドキュメントスペースのユーザー設定の「名前」と「コメント」を修正できます。

ここでは、ドキュメントスペースのユーザー設定の名前とコメントを修正する手順を説明します。

### ユーザー設定の名前とコメントを修正する手順

1. [ドキュメントスペース管理] 画面で、名前とコメントを修正する対象の、ユーザー設定名のリンクをクリックします。  
[ユーザー設定修正] 画面が表示されます。
2. [ユーザー設定修正] 画面の [名前およびコメント] リンクをクリックします。  
[名前およびコメント修正] 画面が表示されます。
3. [名前およびコメント修正] 画面の [名前] に、ユーザー設定の修正後の名前を入力します。
4. [コメント] に、ユーザー設定の修正後のコメントを入力します。
5. [設定] をクリックします。  
ユーザー設定の名前とコメントが修正されて、[ユーザー設定修正] 画面に戻ります。
6. [ユーザー設定修正] 画面の [戻る] をクリックします。  
[ドキュメントスペース管理] 画面に戻ります。

## 4.5 ユーザー設定に属性テンプレートを設定する

ユーザー設定に属性テンプレートを割り当てて、扱う属性テンプレートを限定できます。属性テンプレートを割り当てない場合は、そのユーザー設定では、すべての属性テンプレートを扱うことになります。

ここでは、ユーザー設定に属性テンプレートを設定する手順を説明します。

### ユーザー設定に属性テンプレートを設定する手順

1. [ドキュメントスペース管理] 画面で、属性テンプレートを設定する対象の、ユーザー設定名のリンクをクリックします。  
[ユーザー設定修正] 画面が表示されます。
2. [ユーザー設定修正] 画面の [属性テンプレート] リンクをクリックします。  
[属性テンプレートフィルタ設定] 画面が表示されます。
3. 検索・表示用属性テンプレートをフィルターするかどうかを [登録用の属性テンプレートのフィルタリング] ラジオボタンで指定します。
4. 登録用属性テンプレートをフィルターするかどうかを [登録用の属性テンプレートのフィルタリング] ラジオボタンで指定します。
5. [使用する属性テンプレート] エリアの属性テンプレートについて、作成する属性テンプレートを検索、表示用に利用するかどうかを、[検索・表示] で指定します。
6. [使用する属性テンプレート] エリアの属性テンプレートについて、作成する属性テンプレートを登録用に利用するかどうかを [登録] で指定します。
7. [設定] をクリックします。  
ユーザー設定に属性テンプレートが設定されて、[ユーザー設定修正] 画面に戻ります。
8. [ユーザー設定修正] 画面の [戻る] をクリックします。  
[ドキュメントスペース管理] 画面に戻ります。

## 4.6 表示の設定を行う

---

ユーザー設定を新規作成するときは、システム設定または作成済みのユーザー設定から、表示の設定をコピーします。コピーしたあとで、表示のユーザー設定を修正できます。

表示のユーザー設定を修正する手順は、[ユーザー設定修正] 画面から表示される各画面で行います。手順の詳細は、[システム設定修正] 画面から表示される画面で行う手順と同様です。

**参照** 手順の詳細については、[\[3.6 表示の設定を行う\] \(P.42\)](#)で、「システム設定」を「ユーザー設定」に読み替えて参照してください。

## 4.7 簡易検索のユーザー設定を修正する

ユーザー設定を新規作成するときは、システム設定か作成済みのユーザー設定から、簡易検索の設定をコピーします。コピーしたあとで、簡易検索のユーザー設定を修正できます。簡易検索に関しては、ドキュメントスペースで簡易検索を行うときの検索方法、および検索結果の表示形式を設定します。

簡易検索のユーザー設定を修正する手順は、[ユーザー設定修正] 画面から表示される各画面で行います。手順の詳細は、[システム設定修正] 画面から表示される画面で行う手順と同様です。

**参照** 手順の詳細については、[\[3.9 簡易検索の設定を行う\] \(P.59\)](#) で、「システム設定」を「ユーザー設定」に読み替えて参照してください。

## 4.8 ダウンロード、アップロードのユーザー設定を修正する

---

ユーザー設定を新規作成するときは、システム設定か作成済みのユーザー設定から、ダウンロード、アップロードの設定をコピーします。コピーしたあとで、ダウンロード、アップロードのユーザー設定を修正できます。ドキュメントスペースでダウンロードするときの圧縮形式とダウンロードファイル名、およびダウンロード、アップロードするときの最大データサイズを設定できます。

ダウンロード、アップロードのユーザー設定を修正する手順は、[ユーザー設定修正] 画面から表示される各画面で行います。手順の詳細は、[システム設定修正] 画面から表示される画面で行う手順と同様です。

**参照** 手順の詳細については、[\[3.10 ダウンロード、アップロードの設定を行う\] \(P.61\)](#) で、「システム設定」を「ユーザー設定」に読み替えて参照してください。

## 4.9 ユーザー設定の順序を変更する

[ドキュメントスペース管理] 画面の [ユーザー設定] エリアで、ユーザー設定の順序を変更できます。ここでは、ユーザー設定の順序を変更する手順を説明します。

### ユーザー設定の順序を変更する手順

1. [ドキュメントスペース管理] 画面で、[順序変更] をクリックします。  
[ユーザー設定の順序変更] 画面が表示されます。
2. [ユーザー設定の順序変更] 画面の [ユーザー設定の順序] 欄で、順序変更するユーザー設定を選択します。
3. 必要に応じて、属性の順序を変更します。
  - ◆ **ユーザー設定の順序を1つ上げる場合**
    - (1) [↑] をクリックします。  
選択したユーザー設定の順序が1つ上がります。
  - ◆ **ユーザー設定を1つ下げる場合**
    - (1) [↓] をクリックします。  
選択したユーザー設定の順序が1つ下がります。

## 4.10 ユーザー設定を削除する

---

ドキュメントスペースのユーザー設定を削除できます。  
ここでは、ユーザー設定を削除する手順を説明します。

### ユーザー設定を削除する手順

1. [ドキュメントスペース管理] 画面で、削除対象のユーザー設定のチェックボックスにチェックマークを付けます。複数選択できます。
2. [削除] をクリックします。  
手順 1 で選択したユーザー設定が削除され、[ドキュメントスペース管理] 画面の [ユーザー設定] のリストからも削除されます。

# 5 ユーザー情報を設定する

ドキュメントスペース管理アプリケーションを使って、ユーザー情報を設定する手順を説明します。

## 5.1 ユーザー設定の割り当てを変更する

ユーザー設定を作成したら、そのユーザー設定をどの一般ユーザーに適用するかを指定します。この指定を「ユーザー割り当て」と呼びます。たとえば、ユーザー設定「開発課用」を利用する一般ユーザーを、「田中さん」、「加藤さん」、「佐藤さん」、「山田さん」という開発課のスタッフ4人とする場合は、「開発課用」のユーザーとして、4人を割り当てます。

ドキュメントスペース管理アプリケーションを使って、ユーザー設定へのユーザーの割り当てを変更する手順を説明します。

### 5.1.1 言語を変更する

英語または簡体字中国語のユーザーがドキュメントスペースを使う場合、ユーザー設定の割り当てを変更したら、それぞれの言語でユーザー設定の割り当てを変更します。

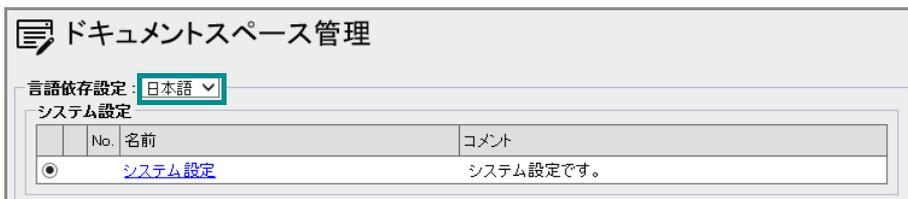
変更しない場合は、英語または簡体字中国語のユーザーは、それぞれの言語のシステム設定またはすでに設定されているユーザー設定が割り当てられます。

**注記** ユーザー設定の割り当ては、必ず言語ごとに同じ設定にしてください。

言語ごとに設定が異なると、ユーザーによっては意図していない表示やアクセスが許可されることとなります。

### 言語を変更する手順

1. [ドキュメントスペース管理] 画面で、[言語依存設定] のプルダウンメニューから言語を選択します。



2. [言語依存設定] のプルダウンメニューに表示される言語の数だけ、ユーザーを割り当てたり、割り当ての解除をしたりします。

## 5.1.2 ユーザー設定にユーザーを割り当てる

ユーザー設定には、「一般ユーザー」、「グループ」、「ユーザーロール」を割り当てられます。ここでは、ユーザー設定にユーザーを割り当てる手順を説明します。

### [ユーザー割り当て変更] 画面の構成

[ユーザー割り当て変更] 画面では、作成したユーザー設定を、どの一般ユーザーに適用するかを指定できます。この指定を「ユーザー割り当て」と呼びます。ユーザー設定ごとに、ドキュメントスペースの [ドキュメント一覧] 画面に表示する属性や、簡易検索、ダウンロード、アップロードの操作内容が設定されます。

図：[ユーザー割り当て変更] 画面

[ユーザー割り当て変更] 画面の各項目について説明します。

| 項目                 | 説明  |
|--------------------|---|
| [ユーザー設定] プルダウンメニュー | ユーザー割り当ての対象とするユーザー設定を選択します。   |
| [ユーザー]             | ユーザー設定に割り当て済みの一般ユーザーが表示されます。ユーザー設定への割り当てを解除する場合に、解除対象の一般ユーザーをクリックして選択します。   |
| [絞り込み]             | [ユーザー] に表示する一般ユーザーを絞り込んで、再表示する場合に、絞り込み条件の文字列を入力します。<br><b>補足</b> 絞り込み条件としては、RMS上の表示名、ふりがな、または名前を指定できます。表示名、ふりがな、または名前が、指定した絞り込み条件の文字列から始まる一般ユーザーが対象となります。 |
| 制限数のプルダウンメニュー      | [ユーザー] に表示できるユーザー数を選択します。   |
| [絞り込み]             | クリックすると、[絞り込み] に入力した絞り込み条件に基づいて、[ユーザー] に、ユーザー設定に割り当て済みの一般ユーザーが再表示されます。  |

| 項目        | 説明   |
|-----------|--|
| [追加]      | <p>クリックすると、[アドレス帳] 画面が表示されます。</p> <p>ユーザー設定に割り当てる一般ユーザー、グループ、ユーザーロールを、[アドレス帳] 画面で選択します。</p> <p>選択を終了すると、[ユーザー割り当て変更] 画面に戻ります。</p> <p>[アドレス帳] 画面で選択した一般ユーザー、グループ、ユーザーロールが、[ユーザー割り当て変更] 画面の [ユーザー]、[グループ]、[ユーザーロール] に表示されます。</p> <p><b>参照</b> [アドレス帳] 画面の操作手順については、『アドレス帳のヘルプ』を参照してください。</p> |
| [削除]      | <p>クリックすると、確認メッセージが表示されます。</p> <p>確認メッセージに対して、[OK] をクリックすると、[ユーザー]、[グループ]、[ユーザーロール] で選択した一般ユーザー、グループ、ユーザーロールについて、ユーザー設定の割り当てが解除されます。</p>   |
| [グループ]    | <p>ユーザー設定に割り当て済みのグループが表示されます。</p> <p>ユーザー設定への割り当てを解除する場合に、解除対象のグループをクリックして選択します。</p>   |
| [ユーザーロール] | <p>ユーザー設定に割り当て済みのユーザーロールが表示されます。</p> <p>ユーザー設定への割り当てを解除する場合に、解除対象のユーザーロールをクリックして選択します。</p>   |
| [設定]      | <p>入力した内容を設定して、[ドキュメントスペース管理] 画面に戻ります。</p>   |

## ユーザー設定にユーザーを割り当てる手順

- [ドキュメントスペース管理] 画面で [ユーザー情報] エリアの [ユーザー割り当て] リンクをクリックします。  
[ユーザー割り当て変更] 画面が表示されます。
- [ユーザー割り当て変更] 画面の [ユーザー設定] プルダウンメニューから、割り当てを行う対象のユーザー設定を選択します。  
選択したユーザー設定に割り当て済みのユーザーがいる場合は、[ユーザー]、[グループ]、[ロール] に表示されます。
- 追加するユーザーに応じて、次のどれかを割り当てます。
  - ◆ **一般ユーザーを割り当てる場合**
    - [ユーザー] エリアの [追加] をクリックします。  
[アドレス帳] 画面が表示されます。
    - ユーザー設定に割り当てる一般ユーザーを、[アドレス帳] 画面で選択します。  
[ユーザー割り当て変更] 画面に戻ります。[アドレス帳] 画面で選択した一般ユーザーが、[ユーザー] に表示されます。
  - ◆ **グループを割り当てる場合**
    - [グループ] エリアの [追加] をクリックします。  
[アドレス帳] 画面が表示されます。
    - ユーザー設定に割り当てるグループを、[アドレス帳] 画面で選択します。  
[ユーザー割り当て変更] 画面に戻ります。[アドレス帳] 画面で選択したグループが、[グループ] に表示されます。
  - ◆ **ユーザーロールを割り当てる場合**
    - [ユーザーロール] エリアの [追加] をクリックします。

- (2) ユーザー設定に割り当てるユーザーロールを、[アドレス帳] 画面で選択します。  
[ユーザー割り当て変更] 画面に戻ります。[アドレス帳] 画面で選択したグループが、[ロール] に表示されます。

**参照** [アドレス帳] 画面の操作手順については、『アドレス帳のヘルプ』を参照してください。

4. 必要に応じて、手順 3 を繰り返します。
5. [設定] をクリックします。  
[ドキュメントスペース管理] 画面に戻ります。

### 5.1.3 ユーザー設定へのユーザーの割り当てを解除する

ドキュメントスペースのユーザー設定に現在割り当てられているユーザーについて、ユーザー設定の割り当てを解除できます。

ここでは、ユーザー設定の割り当てを解除する手順を説明します。

#### ユーザー設定の割り当てを解除する手順

1. [ドキュメントスペース管理] 画面で [ユーザー情報] エリアの [ユーザー割り当て] リンクをクリックします。  
[ユーザー割り当て変更] 画面が表示されます。
2. [ユーザー割り当て変更] 画面の [ユーザー設定] プルダウンメニューから、割り当てを解除する対象のユーザー設定を選択します。  
選択したユーザー設定に割り当て済みのユーザーが、[ユーザー]、[グループ]、[ロール] に表示されます。
3. 割り当てを解除するユーザーに応じて、割り当てを解除します。

##### ◆ 一般ユーザーの割り当てを解除する場合

- (1) [ユーザー] に表示されている一般ユーザーを絞り込んで再表示するには、[絞り込み] に、絞り込み条件の文字列を入力してから、[絞り込み] をクリックします。  
[ユーザー] に、絞り込み条件に該当する一般ユーザーだけが表示されます。

**補足** 絞り込み条件としては、リソース管理サービスでの表示名、ふりがな、または名前を指定できます。表示名、ふりがな、または名前が、指定した絞り込み条件の文字列から始まる一般ユーザーが対象となります。

- (2) [ユーザー] に表示されている一般ユーザーのうち、ユーザー設定の割り当てを解除する一般ユーザーをクリックして選択します。複数選択できます。
- (3) [削除] をクリックします。  
確認メッセージが表示されます。

**補足** ユーザー設定の割り当てが解除された一般ユーザーには、システム設定が適用されます。

##### ◆ グループの割り当てを解除する場合

- (1) [グループ] に表示されているグループのうち、ユーザー設定の割り当てを解除するグループをクリックして選択します。複数選択できます。
- (2) [削除] をクリックします。  
確認メッセージが表示されます。

**補足** ユーザー設定の割り当てが解除されたグループには、システム設定が適用されます。

### ◆ ユーザーロールの割り当てを解除する場合

- (1) [ロール] に表示されているユーザーロールのうち、ユーザー設定の割り当てを解除するユーザーロールをクリックして選択します。複数選択できます。
- (2) [削除] をクリックします。  
確認メッセージが表示されます。

**補足** ユーザー設定の割り当てが解除されたユーザーロールには、システム設定が適用されます。

**4.** 必要に応じて、手順 [3](#) を繰り返します。

**5.** [設定] をクリックします。  
[ドキュメントスペース管理] 画面に戻ります。

## 5.2 ユーザー設定選択権を変更する

ドキュメントスペース管理アプリケーションを使って、ユーザー設定選択権を変更する手順を説明します。

### 5.2.1 ユーザーにユーザー設定選択権を付与する

「ユーザー設定選択権」を付与されたユーザーは、定義されているユーザー設定の中から自分が利用するユーザー設定を選択できます。

ユーザー設定を作成できるのはドキュメントスペース管理アプリケーションの管理者です。

たとえば、開発課課長の山田さんにユーザー設定選択権を付与すれば、山田さんは自分が使うユーザー設定をすべてのユーザー設定から選択できるようになります。

ここでは、一般ユーザーに対して、ユーザー設定選択権を付与する手順を説明します。

#### [ユーザー設定選択権変更] 画面の構成

[ユーザー設定選択権変更] 画面では、一般ユーザーに対して、ドキュメントスペースのユーザー設定選択権を付与します。ユーザー設定選択権とは、ユーザー設定を行う権限のことです。

図：[ユーザー設定選択権変更] 画面

[ユーザー設定選択権変更] 画面の各項目について説明します。

| 項目            | 説明  |
|---------------|---|
| [ユーザー]        | ユーザー設定選択権が付与されている一般ユーザーが表示されます。<br>ユーザー設定選択権を解除する場合に、解除対象の一般ユーザーをクリックして選択します。   |
| [絞り込み]        | [ユーザー] に表示する一般ユーザーを絞り込んで、再表示する場合に、絞り込み条件の文字列を入力します。<br><b>補足</b> 絞り込み条件としては、RMS上の表示名、ふりがな、または名前を指定できます。表示名、ふりがな、または名前が、指定した絞り込み条件の文字列から始まる一般ユーザーが対象となります。 |
| 制限数のプルダウンメニュー | [ユーザー] に表示できるユーザー数を選択します。   |

| 項目        | 説明  |
|-----------|---|
| [絞り込み]    | クリックすると、[絞り込み] に入力した絞り込み条件に基づいて、[ユーザー] に、ユーザー設定選択権が付与されている一般ユーザーが再表示されます。   |
| [追加]      | <p>クリックすると、[アドレス帳] 画面が表示されます。</p> <p>ユーザー設定選択権を付与する一般ユーザーを、[アドレス帳] 画面で選択します。</p> <p>選択を終了すると、[ユーザー設定選択権変更] 画面に戻ります。</p> <p>[アドレス帳] 画面で選択した一般ユーザー、グループ、ユーザーロールが、[ユーザー設定選択権変更] 画面の [ユーザー]、[グループ]、[ユーザーロール] に表示されます。</p> <p><b>参照</b> [アドレス帳] 画面の操作手順については、『アドレス帳のヘルプ』を参照してください。</p> |
| [削除]      | クリックすると、[ユーザー]、[グループ]、[ユーザーロール] で選択した一般ユーザー、グループ、ユーザーロールについて、ユーザー設定選択権が解除されます。  |
| [グループ]    | <p>ユーザー設定選択権が付与されているグループが表示されます。</p> <p>ユーザー設定選択権を解除する場合に、解除対象のグループをクリックして選択します。</p>  |
| [ユーザーロール] | <p>ユーザー設定選択権が付与されているユーザーロールが表示されます。</p> <p>ユーザー設定選択権を解除する場合に、解除対象のユーザーロールをクリックして選択します。</p>  |
| [設定]      | 設定した内容を確定し、[ドキュメントスペース管理] 画面に戻ります。  |

## 一般ユーザーにユーザー設定選択権を付与する手順

1. [ドキュメントスペース管理] 画面で [ユーザー情報] エリアの [ユーザー設定選択権] リンクをクリックします。  
[ユーザー設定選択権変更] 画面が表示されます。  
ユーザー設定選択権を持つ一般ユーザーが、[ユーザー設定選択権変更] 画面の [ユーザー] に表示されます。
2. [ユーザー設定選択権変更] 画面の [追加] をクリックします。  
[アドレス帳] 画面が表示されます。
3. ユーザー設定選択権を付与する一般ユーザーを、[アドレス帳] 画面で選択します。  
[ユーザー権変更] 画面に戻ります。[アドレス帳] 画面で選択した一般ユーザーにユーザー設定選択権が付与されて、[ユーザー] にユーザー名が表示されます。
4. 同様に、[グループ] エリア、[ユーザーロール] エリアでも [追加] をクリックし、[アドレス帳] 画面でグループ、ユーザーロールを選択します。  
**参照** [アドレス帳] 画面の操作手順については、『アドレス帳のヘルプ』を参照してください。
5. [設定] をクリックします。  
[ドキュメントスペース管理] 画面に戻ります。

## 5.2.2 ユーザー設定選択権を解除する

一般ユーザーに現在付与されている、ドキュメントスペースのユーザー設定選択権を解除できます。ユーザー設定選択権を解除されたユーザーは、ユーザー設定を選択できなくなります。ここでは、ユーザー設定選択権を解除する手順を説明します。

### ユーザー設定選択権を解除する手順

1. [ドキュメントスペース管理] 画面で [ユーザー情報] エリアの [ユーザー設定選択権] リンクをクリックします。  
[ユーザー設定選択権変更] 画面が表示されます。  
ユーザー設定選択権を持つ一般ユーザーが、[ユーザー]、[グループ]、および [ユーザーロール] に表示されます。
2. [ユーザー] に表示されているユーザーを絞り込んで再表示するには、[絞り込み] に絞り込み条件の文字列を入力してから、[絞り込み] をクリックします。  
[ユーザー] に、絞り込み条件に該当する一般ユーザーだけが表示されます。  
**補足** 絞り込み条件としては、リソース管理サービスでの表示名、ふりがな、または名前を指定できます。表示名、ふりがな、または名前が、指定した絞り込み条件の文字列から始まる一般ユーザーが対象となります。
3. [ユーザー] に表示されているユーザーのうち、ユーザー設定選択権を解除する一般ユーザーをクリックして選択します。複数選択できます。
4. [削除] をクリックします。  
手順 3 で選択した一般ユーザーのユーザー設定選択権が、[ユーザー] から削除されます。
5. [グループ]、[ユーザーロール] から同様にグループ、およびユーザーロールを選択し、[削除] をクリックしてユーザー設定選択権を解除します。
6. [設定] をクリックします。  
削除が確定されます。  
[ドキュメントスペース管理] 画面に戻ります。  
**補足** [キャンセル] をクリックすると、解除が実行されずに、[ドキュメントスペース管理] 画面に戻りません。

## 5.3 存在しないユーザーの設定情報を削除する

ドキュメントスペース管理アプリケーションを使って、存在しないユーザーの設定情報を削除する手順を説明します。

### 5.3.1 存在しないユーザーの設定情報を削除する

RMS上に存在しないユーザーに割り当てられている設定情報を削除できます。

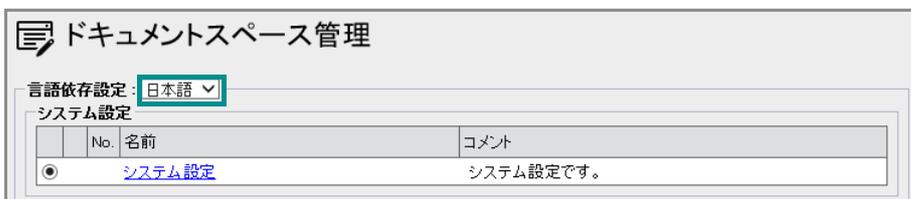
設定情報は、言語ごとに管理されています。日本語で設定情報を削除した場合、英語または簡体字中国語の設定情報も削除します。

**注記** 設定情報の割り当ては、必ず言語ごとに同じ設定にしてください。

言語ごとに設定が異なると、ユーザーによっては意図していない表示やアクセスが許可されることとなります。

### 存在しないユーザーの設定情報を削除する手順

1. [ドキュメントスペース管理] 画面で、[言語依存設定] のプルダウンメニューから言語を選択します。



2. [ユーザー情報] エリアの [存在しないユーザーの設定情報の削除] リンクをクリックします。  
[存在しないユーザーの設定情報の削除] 画面が表示されます。  
[存在しないユーザーの設定情報の削除] 画面に設定情報がある場合、削除確認のメッセージが表示されます。
3. [削除] をクリックします。  
リソース管理アプリケーション上から、存在しないユーザーの設定情報が削除されます。
4. [戻る] をクリックします。  
[ドキュメントスペース管理] 画面に戻ります。  
削除対象の設定情報が無い場合は、[戻る] は表示されず、[キャンセル] が表示されます。
5. [言語依存設定] のプルダウンメニューに表示される言語の数だけ、手順 [1](#) ~ [4](#) を繰り返します。

## 5.4 個人用表示設定を削除する

ドキュメントスペース管理アプリケーションを使って、一般ユーザーの個人用表示設定を削除する手順を説明します。

### 5.4.1 一般ユーザーの個人用表示設定を削除する

一般ユーザーの個人用表示設定を削除できます。

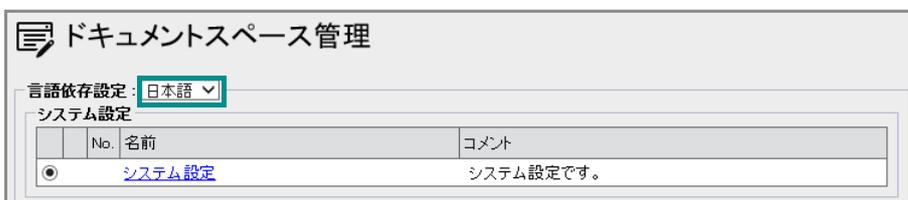
個人用表示設定は、言語ごとに管理されています。日本語で個人用表示設定を削除した場合、英語または簡体字中国語の個人用表示設定も削除します。

**注記** 個人用表示設定は、必ず言語ごとに同じ設定にしてください。

言語ごとに設定が異なると、ユーザーによっては意図していない表示やアクセスが許可されることとなります。

#### 一般ユーザーの個人用表示設定を削除する手順

1. [ドキュメントスペース管理] 画面で、[言語依存設定] のプルダウンメニューから言語を選択します。



2. [ユーザー情報] エリアの [個人用表示設定削除] リンクをクリックします。  
[個人用表示設定削除] 画面が表示されます。  
個人用表示設定がある一般ユーザーが、[ユーザー] に表示されます。
3. [ユーザー] に表示されているユーザーを絞り込んで再表示するには、[絞り込み] に絞り込み条件の文字列を入力してから、[絞り込み] をクリックします。  
[ユーザー] に、絞り込み条件に該当する一般ユーザーだけが表示されます。

**補足** 絞り込み条件としては、リソース管理サービスでの表示名、ふりがな、または名前を指定できます。表示名、ふりがな、または名前が、指定した絞り込み条件の文字列から始まる一般ユーザーが対象となります。

4. [ユーザー] に表示されているユーザーのうち、個人用表示設定を解除する一般ユーザーをクリックして選択します。複数選択できます。
5. [削除] をクリックします。  
手順 3 で選択した一般ユーザーの個人用表示設定が、[ユーザー] から削除されます。
6. 必要に応じて、手順 2 ~ 5 を繰り返します。
7. [戻る] をクリックします。  
[ドキュメントスペース管理] 画面に戻ります。
8. [言語依存設定] のプルダウンメニューに表示される言語の数だけ、手順 1 ~ 7 を繰り返します。

## 5.5 業務設定選択権を変更する

ドキュメントスペース管理アプリケーションを使って、業務設定選択権を変更する手順を説明します。

「業務設定選択権」を付与されたユーザーは、簡易操作画面のレイアウトや実行する操作などを設定できます。簡易操作画面では、ユーザーごとに検索条件や表示方法を設定することで、ArcSuiteに登録されたドキュメントの中から必要なものを表示し、操作することができます。

**参照** 簡易操作画面を設定する方法については、『簡易操作のヘルプ』を参照してください。

### 5.5.1 ユーザーに業務設定選択権を付与する

「業務設定選択権」を付与されたユーザーは、簡易操作画面の設定を新規に作成したり、変更したりできます。たとえば、開発課課長の山田さんに業務設定選択権を付与すると、山田さんは開発課員が使用する簡易操作画面の設定を新規に作成したり、変更したりできるようになります。ここでは、一般ユーザーに対して、業務設定選択権を付与する手順を説明します。

#### [業務設定選択権変更] 画面の構成

[業務設定選択権変更] 画面では、一般ユーザーに対して、業務設定選択権を付与します。業務設定選択権とは、簡易操作画面の設定を行う権限のことです。

図：[業務設定選択権変更] 画面

[業務設定選択権変更] 画面の各項目について説明します。

| 項目     | 説明  |
|--------|---|
| [ユーザー] | 業務設定選択権が付与されている一般ユーザーが表示されます。業務設定選択権を解除する場合に、解除対象の一般ユーザーをクリックして選択します。 |

| 項目            | 説明   |
|---------------|--|
| [絞り込み]        | [ユーザー] に表示する一般ユーザーを絞り込んで、再表示する場合に、絞り込み条件の文字列を入力します。<br><b>補足</b> 絞り込み条件としては、RMS上の表示名、ふりがな、または名前を指定できます。表示名、ふりがな、または名前が、指定した絞り込み条件の文字列から始まる一般ユーザーが対象となります。  |
| 制限数のプルダウンメニュー | [ユーザー] に表示できるユーザー数を選択します。  |
| [絞り込み]        | クリックすると、[絞り込み] に入力した絞り込み条件に基づいて、[ユーザー] に、業務設定選択権が付与されている一般ユーザーが再表示されます。  |
| [追加]          | クリックすると、[アドレス帳] 画面が表示されます。<br>業務設定選択権を付与する一般ユーザーを、[アドレス帳] 画面で選択します。<br>選択を終了すると、[業務設定選択権変更] 画面に戻ります。<br>[アドレス帳] 画面で選択した一般ユーザー、グループ、ユーザーロールが、[業務設定選択権変更] 画面の [ユーザー]、[グループ]、[ユーザーロール] に表示されます。<br><b>参照</b> [アドレス帳] 画面の操作手順については、『アドレス帳のヘルプ』を参照してください。 |
| [削除]          | クリックすると、[ユーザー]、[グループ]、[ユーザーロール] で選択した一般ユーザー、グループ、ユーザーロールについて、業務設定選択権が解除されます。   |
| [グループ]        | 業務設定選択権が付与されているグループが表示されます。<br>業務設定選択権を解除する場合に、解除対象のグループをクリックして選択します。  |
| [ユーザーロール]     | 業務設定選択権が付与されているユーザーロールが表示されます。<br>業務設定選択権を解除する場合に、解除対象のユーザーロールをクリックして選択します。  |
| [設定]          | 設定した内容を確認し、[ドキュメントスペース管理] 画面に戻ります。   |

## 一般ユーザーに業務設定選択権を付与する手順

1. [ドキュメントスペース管理] 画面で [ユーザー情報] エリアの [業務設定選択権] リンクをクリックします。  
[業務設定選択権変更] 画面が表示されます。  
業務設定選択権を持つ一般ユーザーが、[業務設定選択権変更] 画面の [ユーザー] に表示されます。
2. [業務設定選択権変更] 画面の [追加] をクリックします。  
[アドレス帳] 画面が表示されます。
3. 業務設定選択権を付与する一般ユーザーを、[アドレス帳] 画面で選択します。  
[ユーザー権変更] 画面に戻ります。[アドレス帳] 画面で選択した一般ユーザーに業務設定選択権が付与されて、[ユーザー] にユーザー名が表示されます。
4. 同様に、[グループ] エリア、[ユーザーロール] エリアでも [追加] をクリックし、[アドレス帳] 画面でグループ、ユーザーロールを選択します。  
**参照** [アドレス帳] 画面の操作手順については、『アドレス帳のヘルプ』を参照してください。
5. [設定] をクリックします。  
[ドキュメントスペース管理] 画面に戻ります。

## 5.5.2 業務設定選択権を解除する

一般ユーザーに現在付与されている、業務設定選択権を解除できます。

業務設定選択権を解除されたユーザーは、簡易操作画面の表示設定を新規に作成したり、変更したりできなくなります。

ここでは、業務設定選択権を解除する手順を説明します。

### 業務設定選択権を解除する手順

1. [ドキュメントスペース管理] 画面で [ユーザー情報] エリアの [業務設定選択権] リンクをクリックします。

[業務設定選択権変更] 画面が表示されます。

業務設定選択権を持つ一般ユーザーが、[ユーザー]、[グループ]、および [ユーザーロール] に表示されます。

2. [ユーザー] に表示されているユーザーを絞り込んで再表示するには、[絞り込み] に絞り込み条件の文字列を入力してから、[絞り込み] をクリックします。

[ユーザー] に、絞り込み条件に該当する一般ユーザーだけが表示されます。

**補足** 絞り込み条件としては、リソース管理サービスでの表示名、ふりがな、または名前を指定できます。表示名、ふりがな、または名前が、指定した絞り込み条件の文字列から始まる一般ユーザーが対象となります。

3. [ユーザー] に表示されているユーザーのうち、業務設定選択権を解除する一般ユーザーをクリックして選択します。複数選択できます。

4. [削除] をクリックします。

手順 3 で選択した一般ユーザーの業務設定選択権が、[ユーザー] から削除されます。

5. [グループ]、[ユーザーロール] から同様にグループ、およびユーザーロールを選択し、[削除] をクリックして業務設定選択権を解除します。

6. [設定] をクリックします。

削除が確定されます。

[ドキュメントスペース管理] 画面に戻ります。

**補足** [キャンセル] をクリックすると、解除が実行されずに、[ドキュメントスペース管理] 画面に戻りません。

# 6 操作カスタマイズを設定する

ドキュメントスペースの [ドキュメント一覧] 画面に表示されるアイコンをクリックしたときの操作や、操作メニューの内容を操作カスタマイズで設定できます。

## 6.1 操作カスタマイズを設定する

---

操作カスタマイズを行う手順は、システム設定およびユーザー設定ともに同じです。

ドキュメントスペースでは、システム設定およびユーザー設定のそれぞれに [デフォルトの操作カスタマイズ設定] があります。また、システム設定およびユーザー設定のそれぞれに、キャビネットごとの操作カスタマイズ設定を作成できます。

操作カスタマイズで設定できる項目は次のとおりです。

- ・アイコンと属性の操作
- ・属性前のアイコン操作
- ・属性後のアイコン操作
- ・グローバル操作メニューエリア
- ・コンテンツ操作メニューエリア
- ・検索エリア
- ・禁止操作

**注記** 操作カスタマイズ設定は、必ず言語ごとに同じ設定にしてください。  
言語ごとに設定が異なると、ユーザーによっては意図していない表示やアクセスが許可されることとなります。

**参照** 言語の変更方法については、[\[6.2 言語を変更する\] \(P.91\)](#) を参照してください。

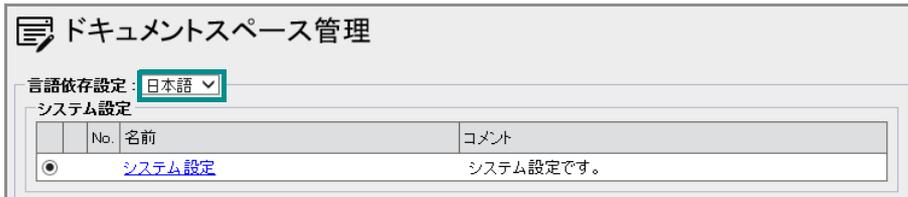
## 6.2 言語を変更する

英語または簡体字中国語のユーザーがドキュメントスペースを使う場合、操作カスタマイズの設定を変更したら、それぞれの言語で操作カスタマイズを設定します。

たとえば、日本語で操作カスタマイズの設定を変更した場合、英語の操作カスタマイズの設定も、日本語の操作カスタマイズの設定と同じ設定を変更する必要があります。

### 操作カスタマイズの言語を変更する手順

1. [ドキュメントスペース管理] 画面で、[言語依存設定] のプルダウンメニューから言語を選択します。



2. [操作カスタマイズ] のリンクをクリックします。
3. 日本語の操作カスタマイズと同じ内容で、操作カスタマイズの設定を変更します。  
**補足** 変更しない場合は、言語に設定されたデフォルトの設定になります。
4. [ドキュメントスペース管理] 画面の [言語依存設定] のプルダウンメニューに表示される言語の数だけ、操作カスタマイズの設定をします。

## 6.3 操作カスタマイズ設定を作成する

---

キャビネットに対して操作カスタマイズ設定を作成します。  
ここでは、操作カスタマイズ設定を作成する手順を説明します。

### 操作カスタマイズ設定を作成する手順

1. [ドキュメントスペース管理] 画面で、[継承関係のある設定] エリアの [操作カスタマイズ] リンクをクリックします。  
[操作カスタマイズ設定] 画面が表示されます。
2. [ツリー] エリアで、操作対象の [デフォルトの操作カスタマイズ設定] のリンク、またはアイコンをクリックします。  
[操作設定一覧] (新規作成) ページが表示されます。
3. 操作対象のキャビネット名の左側にあるチェックボックスにチェックマークを付けます。
4. [作成] をクリックします。  
確認のダイアログボックスが表示されます。
5. [OK] をクリックします。  
キャビネットに対して操作カスタマイズ設定が作成されます。
6. [設定] をクリックします。  
作成した操作カスタマイズ設定がデータベースに反映され、設定を終了します。

## 6.4 操作カスタマイズの設定を削除する

キャビネットに対して割り当てた操作カスタマイズの設定を削除します。  
ここでは、操作カスタマイズ設定を削除する手順を説明します。

### 操作カスタマイズ設定を削除する手順

1. [ドキュメントスペース管理] 画面で、[継承関係のある設定] エリアの [操作カスタマイズ] リンクをクリックします。  
[操作カスタマイズ設定] 画面が表示されます。
2. [ツリー] エリアで、操作カスタマイズ設定を削除するキャビネットリンクをクリックします。  
[操作設定一覧] ページが表示されます。
3. [削除] をクリックします。  
確認のダイアログボックスが表示されます。
4. [変更] をクリックします。  
キャビネットに割り当てられた操作カスタマイズ設定が解除されます。  
**補足** 中止する場合は、[削除をやめる] をクリックします。
5. [設定] をクリックします。  
[設定] を押したときは、削除した操作カスタマイズ設定がデータベースに反映され、設定を終了します。  
**補足** [キャンセル] を押したときは、操作カスタマイズ設定は削除されず、設定を終了します。

## 6.5 ドキュメントのアイコンと属性に操作を割り付ける

ドキュメントスペースの [ドキュメント一覧] 画面で、[リスト表示] エリアに表示されるドキュメントアイコン、またはドキュメントの第1属性をクリックしたときの操作を割り付けられます。

「第1属性」は、ドキュメントスペースのリスト表示エリアで左に表示される属性です。

ここでは、操作を割り付ける手順を説明します。

### ドキュメントのアイコンと属性に操作を割り付ける手順

1. [ドキュメントスペース管理] 画面で、[継承関係のある設定] エリアの [操作カスタマイズ] リンクをクリックします。  
[操作カスタマイズ設定] 画面が表示されます。
2. [ツリー] エリアで操作対象の [デフォルトの操作カスタマイズ設定] にある [アイコンと属性の操作] のリンク、またはアイコンをクリックします。  
ノードの横に表示される [ + ]、[ - ] をクリックすることで、下位ノードの表示・非表示が切り替わります。  
[アイコンと属性の操作] 画面が表示されます。
3. 設定対象のプルダウンメニューで各操作を設定します。  
**注記** 現在の階層以上の階層で、「禁止操作」が割り当てられている操作は選択できません。  
アイコンおよび第 1 属性の操作は必ず 1 個の操作を持つ必要があります。そのため割り当てていた操作を禁止した場合、アイコンおよび第 1 属性の操作のデフォルトの操作に置き換えられます。  
デフォルトの操作も禁止されている場合は、[操作一覧] が割り当てられます。
4. [変更] をクリックします。
5. [設定] をクリックします。  
選択したアイコンと第 1 属性に操作が割り付けられます。

## 6.6 オブジェクト操作メニュー（属性前）の内容を設定する

ドキュメントスペースの [ドキュメント一覧] 画面にある [リスト表示] エリアで、第1属性の後に表示される操作メニューの内容を設定できます。

この第1属性の後に表示される操作メニューを「オブジェクト操作メニュー（属性前）」と呼びます。

初期設定では、[名前] の後ろにあるアイコン群が「オブジェクト操作メニュー（属性前）」です。



| No. | 名前    | 操作  | 最終変更日時              | 最終変更者 | 操作    |
|-----|-------|-----|---------------------|-------|-------|
| 1   | 試作    | 📄 ↓ | 2020/12/18 10:55:23 | 富士A男  | 📄 : 冴 |
| 2   | 図面データ | 📄 ↓ | 2020/12/18 10:55:35 | 富士A男  | 📄 : 冴 |

オブジェクト操作メニュー（属性前）

図：[リスト表示] エリアの「オブジェクト操作メニュー（属性前）」

使用頻度の高い操作メニューを「オブジェクト操作メニュー（属性前）」に登録しておくると便利です。

ここでは、オブジェクト操作メニュー（属性前）の内容を設定する手順を説明します。

### オブジェクト操作メニュー（属性前）の内容を設定する手順

1. [ドキュメントスペース管理] 画面で、[継承関係のある設定] エリアの [操作カスタマイズ] リンクをクリックします。  
[操作カスタマイズ設定] 画面が表示されます。
2. [ツリー] エリアで、操作対象の [デフォルトの操作カスタマイズ設定] にある、[属性前のアイコン操作] リンクまたはアイコンをクリックします。  
ノードの横に表示される [+], [-] をクリックすることで、下位ノードの表示・非表示が切り替わります。  
[操作カスタマイズ設定] 画面の [属性前のアイコン操作] ページが表示されます。
3. 必要に応じて、オブジェクト操作メニュー（属性前）に含める操作を設定します。

**注記** 現在の階層以上の階層で、「禁止操作」が割り当てられている操作は選択できません。

#### ◆ 操作をオブジェクト操作メニュー（属性前）に追加する場合

- (1) [属性前のアイコン操作] ページの [操作一覧] で、オブジェクト操作メニュー（属性前）に追加する操作をクリックして選択します。複数選択できます。
- (2) [→追加] をクリックします。  
手順 1 で選択した操作が、[属性前のアイコン操作] での最後尾に移動します。
- (3) 必要に応じて、手順 1 ~ 2 を繰り返します。

#### ◆ 操作をオブジェクト操作メニュー（属性前）から外す場合

- (1) [属性前のアイコン操作] で、オブジェクト操作メニュー（属性前）から外す操作をクリックして選択します。複数選択できます。
- (2) [←削除] をクリックします。  
手順 1 で選択した属性が、[操作一覧] に移動します。
- (3) 必要に応じて、手順 1 ~ 2 を繰り返します。

4. 必要に応じて、オブジェクト操作メニュー（属性前）での表示順を変更します。

**補足** [属性前のアイコン操作] ページの [属性前のアイコン操作] に表示されている順序が、オブジェクト操作メニュー（属性前）での表示順となります。

◆ **表示順を1つ上げる場合**

- (1) [属性前のアイコン操作] で、表示順を変更する操作をクリックして選択します。
- (2) [↑] をクリックします。  
手順 1 で選択した操作の表示順が1つ上がります。

◆ **表示順を1つ下げる場合**

- (1) [属性前のアイコン操作] で、表示順を変更する操作をクリックして選択します。
- (2) [↓] をクリックします。  
手順 1 で選択した操作の表示順が1つ下がります。

**5.** [変更] をクリックします。

**6.** [設定] をクリックします。  
オブジェクト操作メニュー（属性前）の内容が設定されます。

## 6.7 オブジェクト操作メニュー（属性後）の内容を設定する

ドキュメントスペースの [ドキュメント一覧] 画面にある [リスト表示] エリアで、オブジェクトの属性の後（右側）に表示される操作メニューの内容を設定できます。

この操作メニューを「オブジェクト操作メニュー（属性後）」と呼びます。



オブジェクト操作メニュー（属性後）

図：[リスト表示] エリアの「オブジェクト操作メニュー（属性後）」

ここでは、オブジェクト操作メニュー（属性後）の内容を設定する手順を説明します。

### オブジェクト操作メニュー（属性後）の内容を設定する手順

1. [ドキュメントスペース管理] 画面で、[継承関係のある設定] エリアの [操作カスタマイズ] リンクをクリックします。  
[操作カスタマイズ設定] 画面が表示されます。
2. [ツリー] エリアで、操作対象の [デフォルトの操作カスタマイズ設定] にある、[属性後のアイコン操作] リンクまたはアイコンをクリックします。  
ノードの横に表示される [+], [-] をクリックすることで、下位ノードの表示・非表示が切り替わります。  
[操作カスタマイズ設定] 画面の [属性後のアイコン操作] ページが表示されます。
3. 必要に応じて、オブジェクト操作メニュー（属性後）に含める操作を設定します。

**注記** 現在の階層以上の階層で、「禁止操作」が割り当てられている操作は、選択できません。

#### ◆ 操作をオブジェクト操作メニュー（属性後）に追加する場合

- (1) [操作一覧] で、オブジェクト操作メニュー（属性後）に追加する操作をクリックして選択します。複数選択できます。
- (2) [→追加] をクリックします。  
手順 1 で選択した操作が、[属性後のアイコン操作] での最後尾に移動します。
- (3) 必要に応じて、手順 1 ~ 2 を繰り返します。

#### ◆ 操作をオブジェクト操作メニュー（属性後）から外す場合

- (1) [属性後のアイコン操作] で、オブジェクト操作メニュー（属性後）から外す操作をクリックして選択します。複数選択できます。
- (2) [←削除] をクリックします。  
手順 1 で選択した属性が、[操作一覧] に移動します。
- (3) 必要に応じて、手順 1 ~ 2 を繰り返します。

4. 必要に応じて、オブジェクト操作メニュー（属性後）での表示順を、変更します。

**補足** [属性後のアイコン操作] に表示されている順序が、オブジェクト操作メニュー（属性後）での表示順となります。

#### ◆ 表示順を1つ上げる場合

- (1) [属性後のアイコン操作] で、表示順を変更する操作をクリックして選択します。

(2) [↑] をクリックします。

手順 1 で選択した操作の表示順が 1 つ上がります。

◆ **表示順を 1 つ下げる場合**

(1) [属性後のアイコン操作] で、表示順を変更する操作をクリックして選択します。

(2) [↓] をクリックします。

手順 1 で選択した操作の表示順が 1 つ下がります。

**5.** [変更] をクリックします。

**6.** [設定] をクリックします。

オブジェクト操作メニュー（属性後）の内容が設定されます。

## 6.8 グローバル操作メニューエリアの内容を設定する

ドキュメントスペースの [ドキュメント一覧] 画面にある [グローバル操作メニュー] エリアに表示される操作メニューの内容を設定できます。



グローバル操作メニュー

図：[グローバル操作メニュー] エリア

ここでは、[グローバル操作メニュー] エリアの内容を設定する手順を説明します。

### [グローバル操作メニュー] エリアの内容を設定する手順

1. [ドキュメントスペース管理] 画面で、[継承関係のある設定] エリアの [操作カスタマイズ] リンクをクリックします。  
[操作カスタマイズ設定] 画面が表示されます。
2. [ツリー] エリアで、操作対象の [デフォルトの操作カスタマイズ設定] にある、[グローバルツールバー] リンクまたはアイコンをクリックします。  
ノードの横に表示される [+], [-] をクリックすることで、下位ノードの表示・非表示が切り替わります。  
[操作カスタマイズ設定] 画面の [グローバルツールバー] ページが表示されます。
3. 必要に応じて、グローバル操作メニューに含める操作を設定します。

**注記** 現在の階層以上の階層で、「禁止操作」が割り当てられている操作は選択できません。

#### ◆ 操作をグローバル操作メニューに追加する場合

- (1) [操作一覧] で、グローバル操作メニューに追加する操作をクリックして選択します。複数選択できます。
- (2) [→追加] をクリックします。  
手順 1 で選択した操作が、[グローバルツールバー] での最後尾に移動します。
- (3) 必要に応じて、手順 1 ~ 2 を繰り返します。

#### ◆ 操作をグローバル操作メニューから外す場合

- (1) [グローバルツールバー] で、グローバル操作メニューから外す操作をクリックして選択します。複数選択できます。
- (2) [←削除] をクリックします。  
手順 1 で選択した属性が、[操作一覧] に移動します。
- (3) 必要に応じて、手順 1 ~ 2 を繰り返します。

**4.** 必要に応じて、グローバル操作メニュー中の表示順を変更します。

**補足** [グローバルツールバー] に表示されている順序が、グローバル操作メニューでの表示順となります。

◆ **表示順を1つ上げる場合**

(1) [グローバルツールバー] で、表示順を変更する操作をクリックして選択します。

(2) [↑] をクリックします。

手順 1 で選択した操作の表示順が1つ上がります。

◆ **表示順を1つ下げる場合**

(1) [グローバルツールバー] で、表示順を変更する操作をクリックして選択します。

(2) [↓] をクリックします。

手順 1 で選択した操作の表示順が1つ下がります。

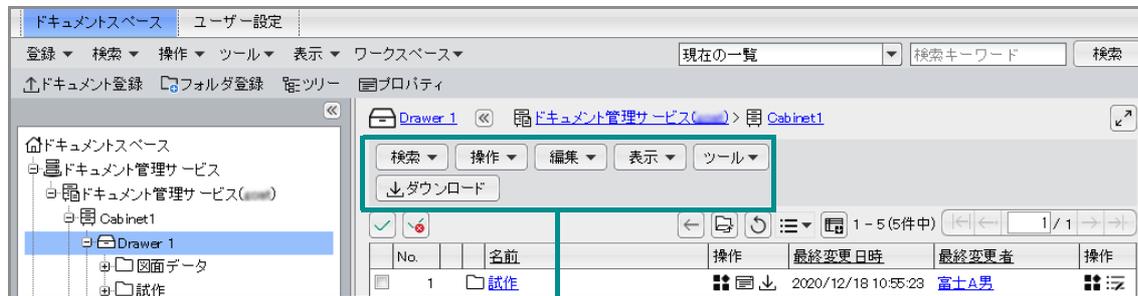
**5.** [変更] をクリックします。

**6.** [設定] をクリックします。

グローバル操作メニューの内容が設定されます。

## 6.9 コンテンツ操作メニューエリアの内容を設定する

ドキュメントスペースの [ドキュメント一覧] 画面にある [コンテンツ操作メニュー] エリアに表示される操作メニューの内容を設定できます。



コンテンツ操作メニュー

図：[コンテンツ操作メニュー] エリア

ここでは、[コンテンツ操作メニュー] エリアの内容を設定する手順を説明します。

### [コンテンツ操作メニュー] エリアの内容を設定する手順

1. [ドキュメントスペース管理] 画面で、[継承関係のある設定] エリアの [操作カスタマイズ] リンクをクリックします。  
[操作カスタマイズ設定] 画面が表示されます。
2. [ツリー] エリアで、操作対象の [デフォルトの操作カスタマイズ設定] にある、[コンテンツツールバー] リンクまたはアイコンをクリックします。  
ノードの横に表示される [ + ]、[ - ] をクリックすることで、下位ノードの表示・非表示が切り替わります。  
[操作カスタマイズ設定] 画面の [コンテンツツールバー] ページが表示されます。
3. 必要に応じて、コンテンツ操作メニューに含める操作を設定します。

**注記** 現在の階層以上の階層で、「禁止操作」が割り当てられている操作は選択できません。

#### ◆ 操作をコンテンツ操作メニューに追加する場合

- (1) [操作一覧] で、コンテンツ操作メニューに追加する操作をクリックして選択します。複数選択できます。
- (2) [→追加] をクリックします。  
手順 1 で選択した操作が、[コンテンツツールバー] での最後尾に移動します。
- (3) 必要に応じて、手順 1 ~ 2 を繰り返します。

#### ◆ 操作をコンテンツ操作メニューから外す場合

- (1) [コンテンツツールバー] で、コンテンツ操作メニューから外す操作をクリックして選択します。複数選択できます。
  - (2) [←削除] をクリックします。  
手順 1 で選択した属性が、[操作一覧] に移動します。
  - (3) 必要に応じて、手順 1 ~ 2 を繰り返します。
4. 必要に応じて、コンテンツ操作メニューでの表示順を変更します。

**補足** [コンテンツツールバー] に表示されている順序が、コンテンツ操作メニューでの表示順となります。

◆ **表示順を1つ上げる場合**

- (1) [コンテンツツールバー] で、表示順を変更する操作をクリックして選択します。
- (2) [↑] をクリックします。  
手順 [1](#) で選択した操作の表示順が1つ上がります。

◆ **表示順を1つ下げる場合**

- (1) [コンテンツツールバー] で、表示順を変更する操作をクリックして選択します。
- (2) [↓] をクリックします。  
手順 [1](#) で選択した操作の表示順が1つ下がります。

**5.** [変更] をクリックします。

**6.** [設定] をクリックします。  
コンテンツ操作メニューの内容が設定されます。

## 6.10 検索エリアの内容を設定する

ドキュメントスペースの [ドキュメント一覧] 画面で、右上部に表示される [簡易検索] エリアの内容を設定できます。

ここでは、検索エリアの内容を設定する手順を説明します。

### 検索エリアの内容を設定する手順

1. [ドキュメントスペース管理] 画面で、[継承関係のある設定] エリアの [操作カスタマイズ] リンクをクリックします。  
[操作カスタマイズ設定] 画面が表示されます。
2. [ツリー] エリアで、操作対象の [デフォルトの操作カスタマイズ設定] にある、[検索エリア] リンクまたはアイコンをクリックします。  
ノードの横に表示される [+], [-] をクリックすることで、下位ノードの表示・非表示が切り替わります。  
[操作カスタマイズ設定] 画面の [検索エリア] ページが表示されます。
3. 必要に応じて、検索エリアに含める操作を設定します。

**注記** 現在の階層以上の階層で、「禁止操作」が割り当てられている操作は選択できません。

#### ◆ 操作を検索エリアに追加する場合

- (1) [操作一覧] で、検索エリアに追加する操作をクリックして選択します。複数選択できます。
- (2) [→追加] をクリックします。  
手順 1 で選択した操作が、[検索エリア] での最後尾に移動します。
- (3) 必要に応じて、手順 1 ~ 2 を繰り返します。

#### ◆ 操作を検索エリアから外す場合

- (1) [検索エリア] で、検索エリアから外す操作をクリックして選択します。複数選択できます。
- (2) [←削除] をクリックします。  
手順 1 で選択した属性が、[操作一覧] に移動します。
- (3) 必要に応じて、手順 1 ~ 2 を繰り返します。

4. 必要に応じて、検索エリアでの表示順を変更します。

**補足** [検索エリア] に表示されている順序が、検索エリアでの表示順となります。

#### ◆ 表示順を 1 つ上げる場合

- (1) [検索エリア] で、表示順を変更する操作をクリックして選択します。
- (2) [↑] をクリックします。  
手順 1 で選択した操作の表示順が 1 つ上がります。

#### ◆ 表示順を 1 つ下げる場合

- (1) [検索エリア] で、表示順を変更する操作をクリックして選択します。
- (2) [↓] をクリックします。  
手順 1 で選択した操作の表示順が 1 つ下がります。

5. [変更] をクリックします。

6. [設定] をクリックします。  
検索エリアの内容が設定されます。

## 6.11 禁止する操作の内容を設定する

ドキュメントスペースで禁止する操作の内容を設定できます。

「禁止操作」とは、操作カスタマイズ設定が有効な範囲のドキュメントスペース上で操作を禁止することです。「禁止操作」には継承関係があり、ツリー上の上階層で設定した禁止操作は、その下階層でも操作が禁止されます。たとえば、システム設定の [デフォルトの操作カスタマイズ設定] で「禁止操作」に割り当てた操作は、各ユーザー設定およびシステム設定が持つキャビネットごとに割り当てられた操作カスタマイズ設定でも操作が禁止されます。

**補足** ユーザー設定に割り当てたユーザーには、ユーザー設定が適用されます。割り当てていないユーザーには、システム設定で設定した、キャビネットごとの操作カスタマイズ設定が適用されます。また、ユーザー設定の [デフォルトの操作カスタマイズ設定] で禁止操作に設定した操作は、そのユーザー設定で設定した、キャビネットごとの操作カスタマイズ設定でも禁止されます。

ここでは、禁止する操作の内容を設定する手順を説明します。

**注記** 禁止操作として設定した操作は、ドキュメントスペース上でだけ禁止されます。ドキュメントスペース以外のコンポーネント（ドキュメント一括操作ツールなど）からの操作は許可されるため、必要に応じてオブジェクトにアクセス権を設定してください。

### 禁止する操作の内容を設定する手順

1. [ドキュメントスペース管理] 画面で、[継承関係のある設定] エリアの [操作カスタマイズ] リンクをクリックします。  
[操作カスタマイズ設定] 画面が表示されます。
2. [ツリー] エリアで、操作対象の [デフォルトの操作カスタマイズ設定] にある、[禁止操作] リンクまたはアイコンをクリックします。  
ノードの横に表示される [＋]、[－] をクリックすることで、下位ノードの表示・非表示が切り替わります。  
[操作カスタマイズ設定] 画面の [禁止操作] ページが表示されます。
3. 必要に応じて、禁止する操作を設定します。

**注記** 現在の階層以上の階層で、「禁止操作」が割り当てられている操作は選択できません。

#### ◆ 禁止する操作に、選択した操作を追加する場合

- (1) [操作一覧] で、禁止する操作をクリックして選択します。複数選択できます。
- (2) [→追加] をクリックします。  
手順 1 で選択した操作が、[禁止操作] での最後尾に移動します。
- (3) 必要に応じて、手順 1～2 を繰り返します。

#### ◆ 禁止する操作から、選択した操作を外す場合

- (1) [禁止操作] で、禁止する操作から外す操作をクリックして選択します。複数選択できます。
- (2) [←削除] をクリックします。  
手順 1 で選択した属性が、[操作一覧] に移動します。
- (3) 必要に応じて、手順 1～2 を繰り返します。

4. [変更] をクリックします。
5. [設定] をクリックします。  
禁止する操作の内容が設定されます。

# 7 アプリケーションの設定を行う

ドキュメントスペースで、次の項目の設定をします。

- Webサーバー
- 基本機能
- リモート編集
- 分類フォルダ
- ごみ箱
- ログ
- 更新タイマー

## 7.1 Web サーバーを設定する

---

ここでは、Webサーバーを設定する手順を説明します。

### Web サーバーを設定する手順

- 1.** [ドキュメントスペース管理] 画面で、[アプリケーション設定] エリアの [Web サーバー] リンクをクリックします。  
[Web サーバー設定] 画面が表示されます。
- 2.** [セッションタイムアウト時間] にドキュメントスペースのセッションタイムアウト時間を分単位で入力します。
- 3.** [設定] をクリックします。  
設定内容が登録されます。

## 7.2 基本機能を設定する

ここでは、基本機能を設定する手順を説明します。

### 基本機能を設定する手順

1. [ドキュメントスペース管理] 画面で、[アプリケーション設定] エリアの [基本機能] リンクをクリックします。  
[基本機能設定] 画面が表示されます。
2. 次の各項目を設定します。

| 項目                      | 説明   |
|-------------------------|--|
| [1つのノードに表示される子要素数]      | [ドキュメント一覧] 画面のツリーにおいて、1つのノードの子要素として表示するノードの最大数を入力します。  |
| [ドラッグ&ドロップでの属性指定]       | [ドキュメント一覧] 画面において、ドラッグ&ドロップで登録する場合に表示されるダイアログボックスの [属性を指定して登録する] にチェックマークを付けるかどうかを選択します。<br>[チェック付き] ラジオボタンまたは [チェックなし] ラジオボタンから選択します。 |
| [ドラッグ&ドロップでの上書き]        | [ドキュメント一覧] 画面において、ドラッグ&ドロップでドキュメントを上書きする場合の動作を選択します。<br>[チェックイン] ラジオボタン、または [コンテンツ差し替え] ラジオボタンから選択します。                                 |
| [改版登録時に属性をマージ指定する]      | 改版登録を行う場合に、現状の最新版から属性を引き継ぐかどうかのデフォルトを選択します。<br>[する] ラジオボタン、または [しない] ラジオボタンから選択します。  |
| [版管理属性を引き継ぐ]            | コピー、移動、またはリファレンス登録を行う場合に、操作対象のドキュメントが持つ版管理属性を引き継ぐかどうかのデフォルトを選択します。<br>[引き継ぐ] ラジオボタン、または [引き継がない] ラジオボタンから選択します。                        |
| [ユニークキー属性を引き継ぐ]         | コピー、移動、またはリファレンス登録を行う場合に、操作対象のドキュメントが持つユニークキー属性を引き継ぐかどうかのデフォルトを選択します。<br>[引き継ぐ] ラジオボタン、または [引き継がない] ラジオボタンから選択します。                     |
| [改版時に作成するリファレンスの種別]     | フォルダを改版する場合に、そのフォルダの中に含まれるドキュメントとフォルダに対してのリファレンスを作成します。作成されるリファレンスの種別のデフォルトを選択します。<br>[通常リファレンス] ラジオボタン、または [ハードリファレンス] ラジオボタンから選択します。 |
| [作成するリファレンスの種別]         | リファレンスを登録する場合に、作成するリファレンスの種別のデフォルトを選択します。  |
| [ロック・アンロックの変更範囲]        | フォルダに対してロックまたはアンロックを行う場合の操作対象の範囲を選択します。<br>[本フォルダのみ] ラジオボタン、または [本フォルダ以下のオブジェクトも含む] ラジオボタンから選択します。                                     |
| [アクセス権・デフォルトアクセス権の変更範囲] | アクセス権またはデフォルトアクセス権変更を行う場合の操作対象の範囲を選択します。<br>[本フォルダのみ] ラジオボタン、または [本フォルダ以下のオブジェクトも含む] ラジオボタンから選択します。                                    |

| 項目                | 説明   |
|-------------------|--|
| [操作実行時の結果画面を表示する] | 操作実行時に表示する結果画面を表示するかどうかを選択します。<br>[表示する] ラジオボタン、または [表示しない] ラジオボタンから選択します。 |

- 3.** [設定] をクリックします。  
設定内容が登録されます。

## 7.3 リモート編集を設定する

ここでは、リモート編集を設定する手順を説明します。

### リモート編集を設定する手順

1. [ドキュメントスペース管理] 画面で、[アプリケーション設定] エリアの [リモート編集] リンクをクリックします。  
[リモート編集設定] 画面が表示されます。

2. 次の各項目を設定します。

| 項目                      | 説明   |
|-------------------------|--|
| [履歴管理]                  | リモート編集の起動時に選択する履歴管理のモードの初期値を設定します。<br>[する] ラジオボタン、または [しない] ラジオボタンから選択します。           |
| [ユーザーごとの編集用一時ファイル数の制限値] | 1人のユーザーが、同時にサーバー上に保持できる、リモート編集用一時ファイルの制限数を設定します。<br>入力範囲は、1~1,000です。<br>デフォルトは、10です。 |

3. [設定] をクリックします。  
設定内容が登録されます。

## 7.4 分類フォルダを設定する

ここでは、分類フォルダを設定する手順を説明します。

### 分類フォルダを設定する手順

1. [ドキュメントスペース管理] 画面で、[アプリケーション設定] エリアの [分類フォルダ] リンクをクリックします。  
[分類フォルダ設定] 画面が表示されます。

2. 次の各項目を設定します。

| 項目                       | 説明  |
|--------------------------|---|
| [年度の開始月日]                | 分類機能で使用する年度の開始月日を設定します。   |
| [年度の開始月のオフセット]           | 分類機能で使用する [年度] の開始月オフセットを設定します。<br>[開始月の翌月] ラジオボタンおよび [開始月に一致] ラジオボタンから選択します。 |
| [1つの設定から作成される分類フォルダの最大値] | 分類設定を作成した場合、作成できる分類フォルダの最大値を設定します。  |

3. [設定] をクリックします。  
設定内容が登録されます。

## 7.5 ごみ箱を設定する

ここでは、ごみ箱を設定する手順を説明します。

### ごみ箱を設定する手順

1. [ドキュメントスペース管理] 画面で、[アプリケーション設定] エリアの [ごみ箱] リンクをクリックします。  
[ごみ箱設定] 画面が表示されます。
2. 次の各項目を設定します。

| 項目           | 説明  |
|--------------|---|
| [ごみ箱機能]      | <p>ごみ箱機能を利用するかどうかを設定します。</p> <p>[利用する] ラジオボタンまたは [利用しない] ラジオボタンから選択します。</p> <p><b>注記</b> [利用する] ラジオボタンを選択しても、キャビネットにごみ箱が設置されていないと、ごみ箱機能は利用できません。</p>  |
| [強制削除]       | <p>なんらかの理由でごみ箱に入れることのできないオブジェクトを削除したときに、強制的に削除するかどうかを設定します。</p> <p>[する] ラジオボタンまたは [しない] ラジオボタンから選択します。</p> <p>設定すると、ごみ箱ドロワーを持たないキャビネットに対して削除操作した場合、完全削除となります。設定していない場合、ごみ箱ドロワーを持たないキャビネットに対して削除操作できません。</p> <p><b>注記</b> [ごみ箱機能] で [利用する] を選択したときに利用できます。</p>   |
| [ユーザーフィルタUI] | <p>ごみ箱でのオブジェクトに対するフィルター用UIを使用するかどうかを設定します。</p> <p>[する] ラジオボタンまたは [しない] ラジオボタンから選択します。</p> <p><b>補足</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「する」とした場合、ドキュメントスペースでごみ箱を表示すると、「自分-すべて」のプルダウンメニューが表示され、「自分が削除したもの」と「自分にアクセス権があるもの」でリストを切り替えることができます。</li> <li>・「しない」とした場合は、プルダウンメニューは表示されず、自分が削除したものだけをリストします。</li> <li>・管理者モードでドキュメントスペースにアクセスした場合、[ユーザーフィルタUI] は表示されず、すべてのユーザーが削除したオブジェクトが表示されます。</li> </ul> <p><b>注記</b> [ごみ箱機能] で [利用する] を選択したときに利用できます。</p> |

3. [設定] をクリックします。  
設定内容が登録されます。

## 7.6 ログを設定する

ドキュメントスペースで記録するログのレベルを設定します。

ドキュメントスペースで記録するログは次の4種類です。

- ・アカウントログ  
ドキュメントスペースが管理するオブジェクトに対する操作内容を記録します。
- ・セッションログ  
セッションの確立と終了を記録します。
- ・システムログ  
エラー情報、管理操作、運用上の解析情報を記録します。
- ・トレースログ  
開発者用のデバッグ情報を記録します。

ここでは、ログを設定する手順を説明します。

### ログを設定する手順

1. [ドキュメントスペース管理] 画面で、[アプリケーション設定] エリアの [ログ] リンクをクリックします。  
[ログ設定] 画面が表示されます。
2. 次の各項目を設定します。

| 項目                           | 説明   |
|------------------------------|--|
| [ログ名]                        | ログ種別が表示されます。   |
| [ドキュメントスペースのログレベル] プルダウンメニュー | <p>ログごとに、記録するログのレベルを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ OFF<br/>ログを記録しません。</li> <li>・ FATAL<br/>FATALレベルの情報を記録します。</li> <li>・ ERROR<br/>FATALおよびERRORレベルの情報を記録します。</li> <li>・ WARN<br/>FATAL、ERROR、およびWARNレベルの情報を記録します。</li> <li>・ INFO<br/>FATAL、ERROR、WARN、およびINFOレベルの情報を記録します。</li> <li>・ DEBUG<br/>FATAL、ERROR、WARN、INFO、およびDEBUGレベルの情報を記録します。</li> <li>・ ALL<br/>FATAL、ERROR、WARN、INFO、DEBUGレベルの情報、および取得できるすべての情報を記録します。</li> </ul> |
| [管理ツールのログレベル] プルダウンメニュー      | <p>ログごとにレベルを選択します。</p> <p>「セッションログ」以外のログレベルを選択できます。</p>  |

3. [設定] をクリックします。  
設定内容が登録されます。

## 7.7 更新タイマーを設定する

ここでは、ドキュメントスペースがキャッシュを更新するタイマーを設定する手順を説明します。

### 更新タイマーを設定する手順

1. [ドキュメントスペース管理] 画面で、[アプリケーション設定] エリアの [更新タイマー] リンクをクリックします。  
[更新タイマー設定] 画面が表示されます。
2. [指定方法] プルダウンメニューから、更新タイマーの種類を選択します。
3. [更新開始時間] および [更新日] を設定します。

**注記**

- ・ [指定方法] で「毎日」を選択した場合、[更新日] は表示されません。
- ・ [指定方法] で「タイマーは使用しない」を選択した場合、[更新開始時間] および [更新日] は表示されません。

4. [設定] をクリックします。  
設定内容が登録されます。



# 8 ドキュメントスペースへの各種リンク

ドキュメントスペースをリンクから使う手順を説明します。

## 8.1 ドキュメントスペースへのリンクを使用する

### 8.1.1 ドキュメントスペースをドキュメント管理サービスの管理者として起動する

ここでは、ドキュメントスペースを、ドキュメント管理サービスのサービス管理者またはキャビネット管理者として起動する手順を説明します。

管理者としてドキュメントスペースを起動すると、ほかのユーザーにロックされたりチェックアウトされたりしていない限り、オブジェクトの状態やアクセス権などによる制限を受けずにオブジェクトを操作できます。

**注記** 管理者でのアクセス中に、セッション切れなどにより、ユーザーの意図に反して管理者モードを継続できなくなる場合があります。

このため、管理者モードでオブジェクトを操作する場合には、ブラウザウィンドウタイトルに「管理者モード」と表示されていることを確認してください。

**補足** ドキュメントスペースを、「ドキュメント管理サービス」の「サービス管理者」、または「キャビネット管理者」として起動する手順です。「ドキュメントスペース管理者」として起動する手順ではありません。

ドキュメント管理サービスのサービス管理者、またはキャビネット管理者である必要があります。

### ドキュメントスペースをドキュメント管理サービスの管理者として起動する手順

1. [ドキュメントスペース管理] 画面の [ドキュメントスペースへのリンク] エリアで [管理者権限でのアクセス] リンクをクリックします。

ドキュメントスペースの [ドキュメント一覧] 画面が別画面で表示されます。管理者権限のある状態で、ドキュメントスペースが起動されます。

### 8.1.2 URL 生成アプリケーションを起動する

ここでは、ドキュメントスペースドキュメント操作URLのインターフェイスに対応したURL文字列を生成するためにURL生成アプリケーションを起動する手順を説明します。

### URL 生成アプリケーションを起動する手順

1. [ドキュメントスペース管理] 画面の [ドキュメントスペースへのリンク] エリアで [URL 生成ツール] リンクをクリックします。

[URL 生成 - オブジェクト表示] 画面が表示されます。

### 8.1.3 新規詳細検索 URL 作成の画面を表示する

ここでは、新規詳細検索表示および新規詳細検索結果表示機能用URLを生成するための画面を表示する手順を説明します。

### 新規詳細検索 URL 作成の画面を表示する手順

1. [ドキュメントスペース管理] 画面の [ドキュメントスペースへのリンク] エリアで [新規詳細検索 URL 作成] リンクをクリックします。

[新規詳細検索 URL 作成] 画面が表示されます。

## 8.1.4 ドキュメントスペースに対して設定を反映する

---

ドキュメントスペース管理アプリケーションの設定した内容を、即時に反映させるために、キャッシュをクリアし、設定内容を反映させるための手順を説明します。

### ドキュメントスペースに対して設定を反映する手順

1. [ドキュメントスペース管理] 画面の [ドキュメントスペースへのリンク] エリアで [設定の反映] リンクをクリックします。  
ドキュメントスペースの情報が更新されます。